

姫路市まちづくりのためのアンケート報告書
【概要版】

平成 31 年3月

姫路市

〈目次〉

I. 市民アンケート

1. 調査の目的と実施概要	1
2. 調査結果の概要	2
(1) 姫路への愛着について	2
(2) 日常生活範囲について	2
(3) 暮らしなどについて	6
(4) 姫路市の施策に対する現状の満足度と今後の重要性について	10
(5) 地域における「他者とのつながり」や「地域活動」について	15
(6) 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について	19
(7) 行政サービスの水準と市民負担について	23
(8) 「他者とのつながりを感じる場」と「姫路市における生活の満足度」の関係について(項目間クロス分析)	24
(9) 「地域活動への参加状況」と「姫路市における生活の満足度」の関係について(項目間クロス分析)	25

II. 有識者(学識者、地域団体)アンケート及び職員アンケート

1. 調査の目的と実施概要	26
2. 市民アンケートと有識者(学識者、地域団体)アンケートの比較	
(1) 人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について	28
3. 市民アンケートと有識者(地域団体)アンケートの比較	
(1) 暮らしなどについて	32
4. 市民アンケートと職員アンケートの比較	
(1) 姫路市の施策に対する現状の満足度(充実度)と今後の重要性について	36
5. 市民アンケートと有識者(学識者、地域団体)アンケート、職員アンケートの比較	
(1) 行政サービスの水準と市民負担について	37
6. その他	
(1) 姫路市が今後、力を入れていくべき点について(有識者(学識者)アンケート)	38
(2) 地域団体において、今後取り組んでいきたい活動について(有識者(地域団体)アンケート)	38
(3) 人口減少や少子高齢化の進行など、地方が直面している課題等について(職員アンケート)	39

I. 市民アンケート

1. 調査の目的と実施概要

(1)本調査の目的

姫路市まちづくりのための市民アンケート調査は、新たな総合計画の策定にあたり、幅広い市民からまちづくりの意向について意見を収集し、当該計画に反映するとともに、市民満足度を把握するなど、現行総合計画の総括に資する情報収集を行うために実施した。

(2)調査実施概要

①調査対象者

層化無作為抽出法によって選ばれた 15 歳以上の市民 10,000 名（外国人含む）

②調査票配布・回収方法

郵送により調査票を配布・回収（希望者は web から調査票をダウンロード）。なお、督促葉書を送付することにより回収率の向上を図った。

③調査期間

平成 30 年 8 月 28 日（火）発送～9 月 21 日（金）〆切

④調査内容

ア. 回答者の属性

（性別、年齢、世帯構成、職業、居住のきっかけ、居住年数、住居形態、居住地

イ. 姫路への愛着、姫路のイメージについて

ウ. 日常生活の範囲について

（食料品・日用品を購入する地域・かかりつけの医療機関がある地域等、ネット通販の利用）

エ. 住みやすさや定住意向について

（住みやすさ、定住意向、引っ越したい場所・理由）

オ. 姫路市の施策に対する満足度・重要性について

カ. 地域活動について

キ. 今後の姫路のまちづくりにとって必要な取組について

ク. 行政サービスの水準と市民負担について

ケ. 将来像やまちづくりのあり方などに関する自由意見

⑤回収率

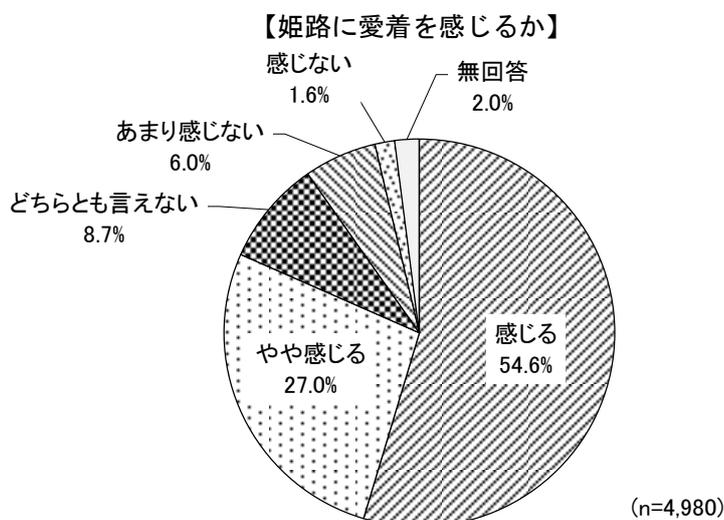
	今回 (H30. 8)	前回 (H18. 9)	市民満足度調査		
			(H24. 2)	(H25. 12)	(H28. 2)
発送数	10,000 票	10,000 票	3,000 票	3,000 票	3,000 票
回収数	4,984 票	5,518 票	—	—	—
無効票	4 票	15 票	—	—	—
有効回収数	4,980 票	5,503 票	1,159 票	1,203 票	1,022 票
有効回収率	49.8%	55.0%	38.6%	40.1%	34.1%

2. 調査結果の概要

(1) 姫路への愛着について

問1 あなたは姫路に愛着を感じますか

- ・「やや感じる」を含めると、80%以上が愛着を感じると回答している。一方、「あまり感じない」を含めて、愛着を感じないという回答割合は8%未満となっている。
- ・年齢別にみた場合、50歳代以上で「感じる」の回答割合が高くなり、70歳代以上が65.4%ともっとも高く、次いで、50歳代で56.3%となっており、20歳代で43.3%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、飾磨ブロックで「感じる」、「やや感じる」を含めた回答割合が86.7%ともっとも高く、次いで、中部第一ブロックで85.9%、広畑ブロックで83.4%となっている。一方で、安富ブロックで58.5%ともっとも低くなっている。

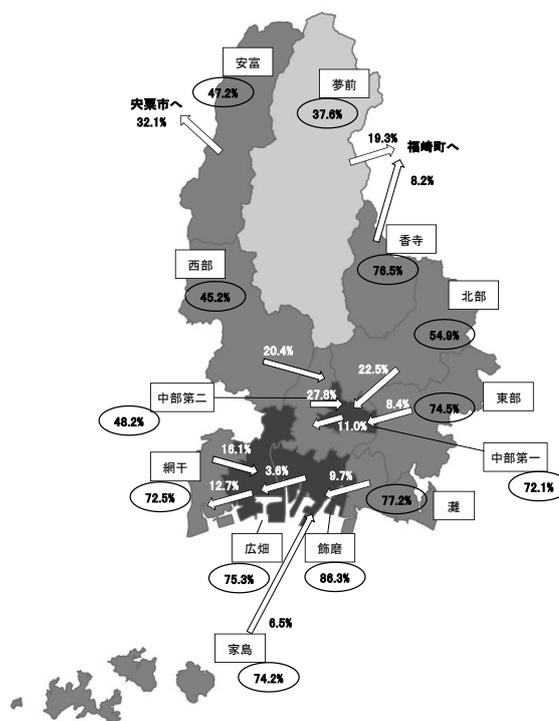


(2) 日常生活範囲について

問3 ① 食料品・日用品を購入する地域

- ・食料品・日用品を購入する地域は、「中部第一」の回答割合が16.5%ともっとも高く、次いで「飾磨」が13.4%となっている。
- ・居住地別にみた場合、居住地内で食料品・日用品を購入するのが主であるが、夢前、香寺ブロックでは「福崎町」（夢前19.3%・香寺8.2%）、安富ブロックでは「宍粟市」（32.1%）といった市外でも食料品・日用品を購入している。

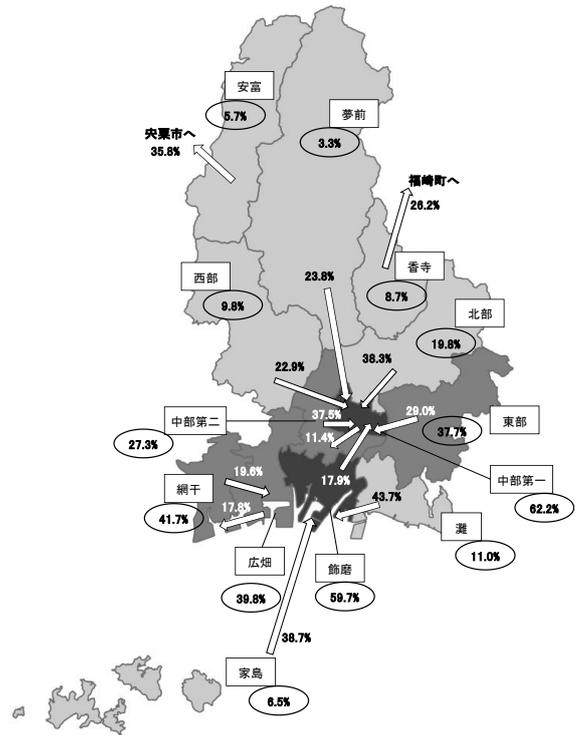
【食料品・日用品を購入する地域】



問3 ②服、かばん、電化製品等を購入する地域

- ・服、かばん、電化製品等を購入する地域は、「中部第一」の回答割合が27.9%ともっとも高く、次いで「飾磨」が18.0%となっている。
- ・居住地別にみた場合、市内では「中部第一」や沿岸の地域においては「飾磨」で購入する割合が高くなっている。また、香寺ブロックでは「福崎町」(26.2%)、安富ブロックでは「宍粟市」(35.8%)といった市外での購入割合がもっとも高くなっている。

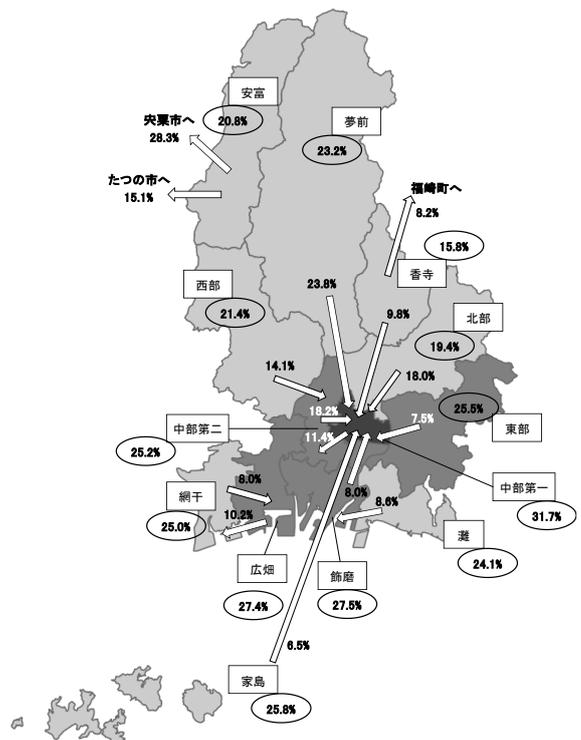
【服、かばん、電化製品等を購入する地域】



問3 ③通勤・通学先がある地域

- ・通勤・通学先がある地域は、「中部第一」の回答割合が12.4%ともっとも高く、次いで「中部第二」が10.0%となっている。
- ・居住地別にみた場合、安富ブロック以外では、居住地内で通勤・通学している割合がもっとも高くなっている。安富ブロックでは「宍粟市」(28.3%)や「たつの市」(15.1%)へ通勤・通学している割合も高くなっている。

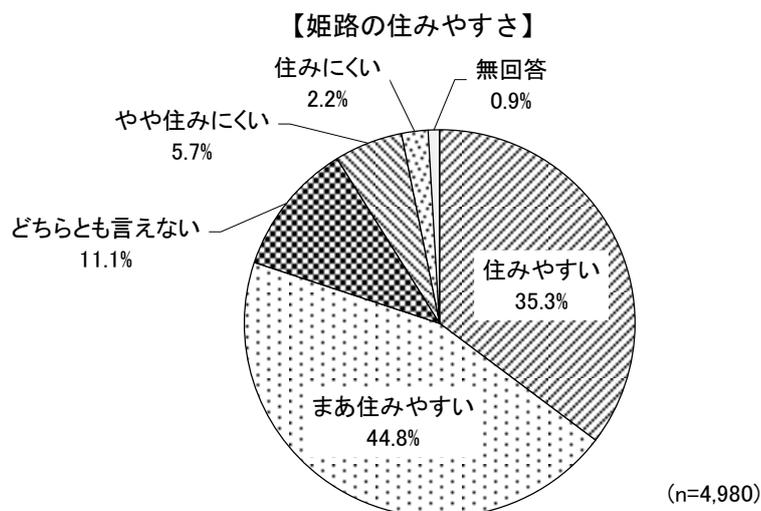
【通勤・通学先がある地域】



(3)暮らしなどについて

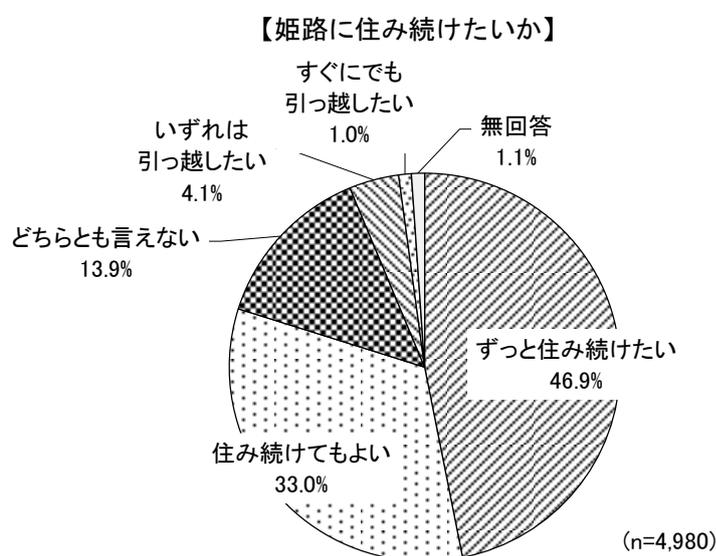
問5 今の姫路は住みやすいと思いますか

- ・「まあ住みやすい」を含めると、80%以上が住みやすいと回答している。一方、「やや住みにくい」を含めて、住みにくいという回答割合は約8%になっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代で「住みやすい」、「まあ住みやすい」の回答割合が83.9%ともっとも高く、次いで50歳代で82.3%となっており、30歳代で78.1%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「住みやすい」、「まあ住みやすい」の回答割合が88.4%ともっとも高く、次いで、中部第二ブロックで85.5%となっている。一方、夢前ブロックで58.0%ともっとも低く、次いで安富ブロックで62.3%となっている。



問6 これからも姫路に住み続けたいですか

- ・「住み続けてもよい」を含めると、約80%が住み続けたいと回答している。一方、「いずれは引っ越したい」を含めて、引っ越したいという回答の割合は約5%となっている。
- ・年齢別にみた場合、70歳代以上で「ずっと住み続けたい」、「住み続けてもよい」の回答割合は86.5%ともっとも高く、次いで60歳代で83.2%となっており、10歳代で61.7%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「ずっと住み続けたい」、「住み続けてもよい」の回答割合が85.7%ともっとも高く、次いで飾磨ブロックで83.5%、西部ブロックで82.7%となっている。一方、安富ブロックで60.4%ともっとも低くなっている。



問7-1 ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、どの地域に引っ越したいですか

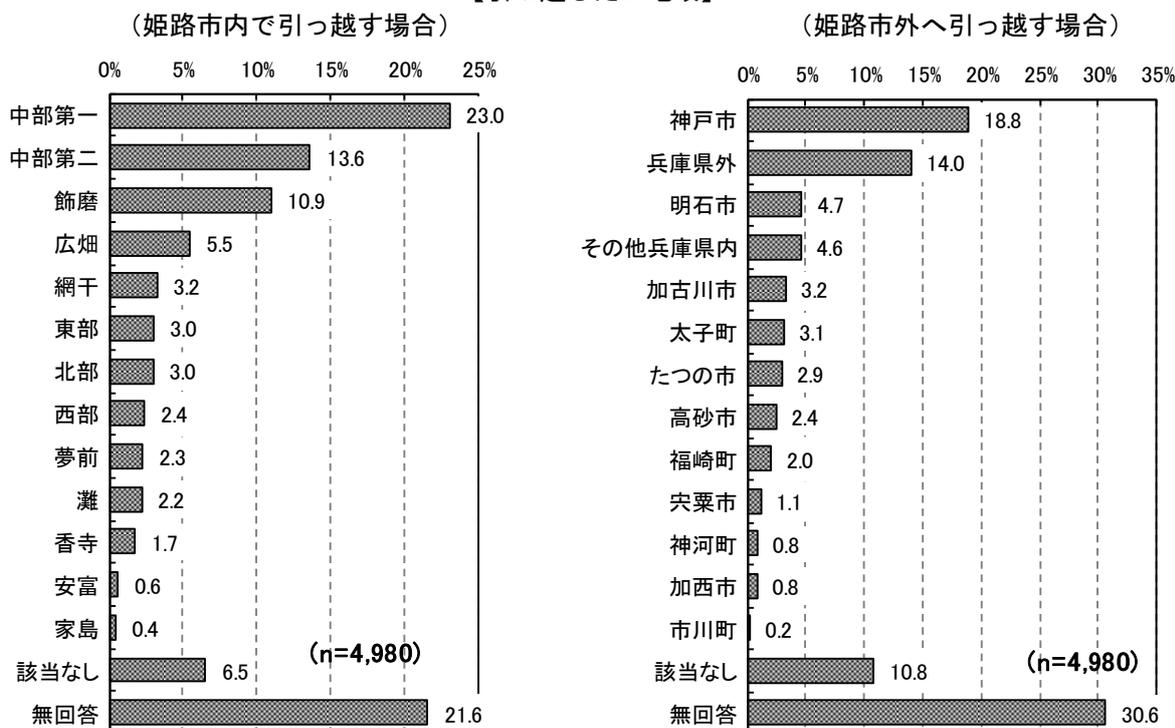
【姫路市内で引っ越す場合】

- ・「中部第一」の回答割合が23.0%でもっとも高く、次いで「中部第二」が13.6%、「飾磨」が10.9%となっている。
- ・年齢別にみた場合、すべての年齢において、「中部第一」の回答割合がもっとも高くなっており、20歳代から40歳代では、次いで「飾磨」（20歳代18.6%・30歳代14.7%・40歳代15.6%）の回答割合が高く、それ以外の年齢では「中部第二」となっている。
- ・居住地別にみた場合、北部、中部第二ブロックでは「中部第一」（北部33.2%・中部第二29.2%）の回答割合が高く、灘、家島ブロックでは「飾磨」（灘21.7%・家島58.1%）の回答割合が高くなっている。

【姫路市外へ引っ越す場合】

- ・「神戸市」の回答割合が18.8%でもっとも高く、次いで「兵庫県外」が14.0%となっている。
- ・年齢別にみた場合、すべての年齢において「神戸市」の回答割合がもっとも高く、次いで「兵庫県外」となっている。
- ・居住地別にみた場合、すべての居住地において「神戸市」との回答割合がもっとも高くなっている。網干ブロックでは「太子町」（10.1%）、夢前、香寺ブロックでは「福崎町」（夢前10.5%・香寺12.6%）、安富ブロックでは「宍粟市」（15.1%）、「たつの市」（13.2%）の回答割合が全体より高くなっている。

【引っ越したい地域】



問7-2 ライフステージの変化等により、引っ越すとすれば、引っ越したい地域に選んだ理由はなんですか

【姫路市内で引っ越す場合】

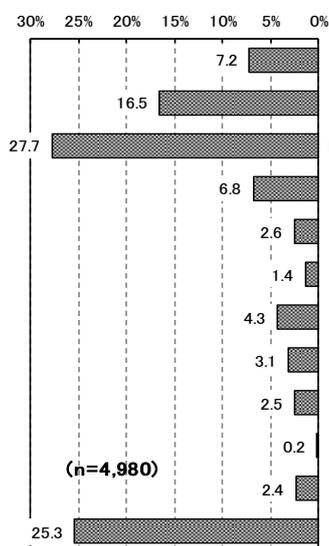
- ・姫路市内で引っ越す理由は、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が27.7%でもっとも高く、次いで「公共交通（電車、バス等）の利便性」が16.5%、「通勤・通学の都合」が7.2%となっている。
- ・年齢別にみた場合、20歳代から70歳代以上では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」の回答割合が25%以上ともっとも高くなっている。一方、10歳代では「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が27.2%ともっとも高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、家島ブロックでは「公共交通（電車、バス等）の利便性」の回答割合が25.8%ともっとも高く、次いで「親族との同居・近居」が22.6%となっている。

【姫路市外へ引っ越す場合】

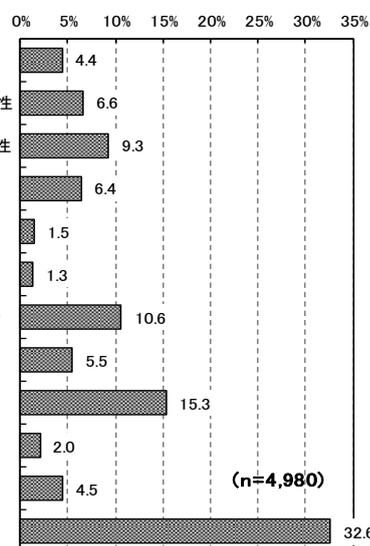
- ・姫路市外へ引っ越す理由は、「まちのイメージ」の回答割合が15.3%でもっとも高く、次いで「海・山・川などの豊かな自然環境」が10.6%、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」が9.3%となっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代から60歳代で「まちのイメージ」の回答割合が15%以上ともっとも高くなっている。また、10歳代では「日常生活（買い物・通院等）の利便性」（20.6%）および「通勤・通学の都合」（15.6%）の回答割合が全体より高くなっている。20歳代では、全体より「通勤・通学の都合」（16.3%）、「日常生活（買い物・通院等）の利便性」（15.1%）、「公共交通（電車、バス等）の利便性」（14.7%）の回答割合が高くなっている一方で、「海・山・川などの豊かな自然環境」（4.8%）の回答割合が低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、夢前、香寺、安富ブロックでは「日常生活（買い物・通院等）の利便性」（夢前14.4%・香寺15.3%・安富15.1%）の回答割合が全体より高くなっている。

【引っ越したい地域に選んだ理由】

(姫路市内で引っ越す理由)



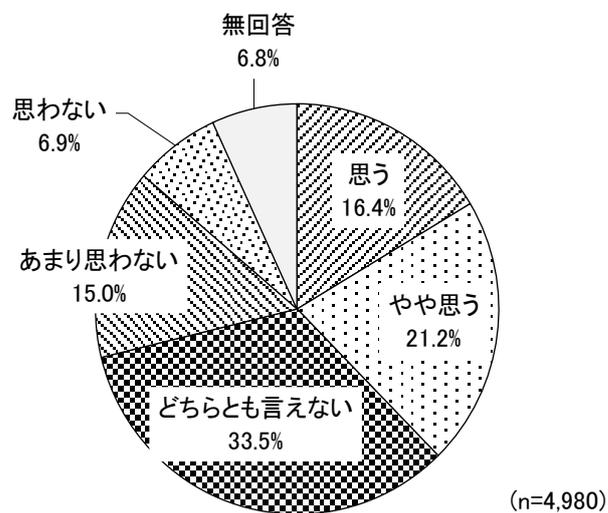
(姫路市外へ引っ越す理由)



問8 姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか

- ・「やや思う」を含めると、37.6%が勧めたいと思うと回答している。一方、「あまり思わない」を含めて、勧めたいと思わないという回答割合は 21.9%になっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代で「思う」、「やや思う」の回答割合が50.6%ともっとも高く、次いで20歳代が42.3%となっており、60歳代で34.5%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「思う」、「やや思う」の回答割合が46.0%ともっとも高く、次いで中部第二ブロックで40.8%となっている。一方、安富ブロックで「思う」、「やや思う」の回答割合が28.3%ともっとも低くなっている。

【姫路市内での居住を勧めたいか】



(4)姫路市の施策に対する現状の満足度と今後の重要性について

問9 あなたが日ごろ感じている現状の満足度

- ・「満足」、「やや満足」の回答割合が高い施策は順に、「⑰姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(57.1%)、「⑳姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(44.7%)、「⑱文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用」(44.2%)となっている。
- ・現状の満足度の平均得点が高い施策は順に、「⑰姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用」(3.69点)、「⑱文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用」(3.53点)、「⑳姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成」(3.37点)となっている。
- ・「不満」、「やや不満」の回答割合が高い施策は順に、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」(34.1%)、「㉑公共交通網の充実など交通網の構築」(27.8%)、「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(24.7%)となっている。
- ・現状の満足度の平均得点が高い施策は順に、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」(2.72点)、「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(2.78点)、「⑫積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進」(2.86点)となっている。
- ・男女別にみた場合、男女で上位10施策に大きな差異は見られないが、女性は男性より「⑧大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興」(3.01点)、「⑦小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実」(3.02点)の教育分野の満足度の順位が低く、下位10施策に含まれる。
- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「㉒おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実」(10歳代3.57点・20歳代3.20点)、「㉓外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進」(10歳代3.54点・20歳代3.15点)の観光分野の順位が高く、65歳以上では「㉔ごみの減量化など循環型社会の形成」(60～65歳3.13点・70～74歳3.23点・75歳以上3.42点)の順位が高くなっている。また、20歳代、30歳代では「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」(20歳代2.88点・30歳代2.82点)の順位が他の年齢層より低く、下位10施策に含まれる。
- ・居住地別にみた場合、家島ブロックは「㉕防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実」(3.50点)がもっとも高くなっており、安富ブロックでは「②保育サービスの充実など子育て支援の推進」(3.21点)の順位が高くなっている。

【現状の満足度（平均得点）（過去調査との比較）】

設問項目	H23年度	H25年度	H27年度	今回	H23年度からの増減
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	3.04	3.06	2.97	3.02	▲ 0.02
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	2.98	2.99	2.98	3.03	0.05
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	3.03	3.03	2.94	3.03	0.00
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	2.97	2.97	2.95	2.96	▲ 0.01
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	2.96	2.91	2.99	3.06	0.10
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	3.05	3.03	3.06	3.14	0.09
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.05	3.10	3.10	3.03	▲ 0.02
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.03	3.03	3.07	2.99	▲ 0.04
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.19	3.18	3.20	3.20	0.01
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	3.05	3.05	3.05	3.09	0.04
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.08	3.07	3.09	3.10	0.02
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	2.90	2.89	2.87	2.86	▲ 0.04
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	2.84	2.83	2.85	2.90	0.06
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	2.71	2.73	2.73	2.72	0.01
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	2.57	2.62	2.71	2.78	0.21
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	2.87	2.87	2.90	3.01	0.14
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	3.88	3.96	3.88	3.69	▲ 0.19
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.56	3.66	3.57	3.53	▲ 0.03
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.28	3.32	3.24	3.17	▲ 0.11
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.31	3.34	3.28	3.24	▲ 0.07
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.12	3.11	3.12	3.19	0.07
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.13	3.12	3.06	3.00	▲ 0.13
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.10	3.10	3.06	3.08	▲ 0.02
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	3.06	3.03	3.09	3.03	▲ 0.03
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	3.11	3.09	3.13	3.11	0.00
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	3.28	3.24	3.30	3.23	▲ 0.05
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	3.02	3.01	3.06	3.01	▲ 0.01
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	3.02	2.96	3.04	3.07	0.05
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	3.12	3.07	3.15	3.27	0.15
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.21	3.26	3.33	3.37	0.16
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	2.97	3.11	3.11	3.15	0.18
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.14	3.14	3.21	3.24	0.10
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.08	3.09	3.10	3.15	0.07
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	2.92	2.89	2.92	2.93	0.01
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	3.02	3.01	3.05	3.09	0.07
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.10	3.09	3.11	3.12	0.02
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.01	3.02	3.02	3.00	▲ 0.01
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	2.98	3.01	3.02	3.04	0.06
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.15	3.11	3.09	3.08	▲ 0.07
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.08	3.05	3.05	3.05	▲ 0.03
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.11	3.10	3.10	3.04	▲ 0.07
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.11	3.05	3.03	3.04	▲ 0.07
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.06	3.05	3.03	3.04	▲ 0.02
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.07	3.01	3.02	3.04	▲ 0.03
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	2.83	2.89	2.89	2.95	0.12

問9 まちづくり全体からみた今後の重要性

- ・「重要である」、「やや重要である」の回答割合が高い施策は順に、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」(80.3%)、「⑳防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保」(79.3%)、「⑤医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営」(77.4%)となっている。
- ・今後の重要性の平均得点が高い施策は順に、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」(4.44点)、「⑳防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保」(4.38点)、「⑤医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営」(4.37点)、「㉗耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進」(4.37点)となっている。
- ・「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が高い施策は順に、「㉒ナイト観光の推進など多彩な観光の推進」(9.2%)、「㉔海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築」(8.6%)、「⑨公民館活動の充実など生涯学習の振興」(7.2%)、「㉞自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進」(7.2%)となっている。
- ・今後の重要性の平均得点が低い施策は、「㉟審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進」(3.38点)、「㉔海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築」(3.42点)、「㉠男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現」(3.48点)となっている。
- ・男女別にみた場合、男女で上位10施策に大きな差異は見られないが、男性では「㉙芸術文化活動の支援など市民文化の創造」(3.56点)、女性では「㉓近隣市町との連携など広域的な交流連携」(3.58点)、「㉚行政手続きの電子化など電子市役所の推進」(3.61点)、「㉕事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進」(3.63点)の重要性の順位が低く、下位10施策に含まれる。
- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「㉑就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」(10歳代4.27点・20歳代4.27点)の重要性が高くなっている。また、65歳以上では「㉞自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進」は下位10施策に含まれないが、その他の年齢層では下位10施策に含まれる。70歳以上では「㉜インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現」(70～74歳3.43点・75歳以上3.54点)の重要性が低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、各ブロックに大きな差異は見られないが、安富ブロックでは「㉒外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進」(3.20点)、「㉠中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり」(3.37点)の重要性が低くなっている。

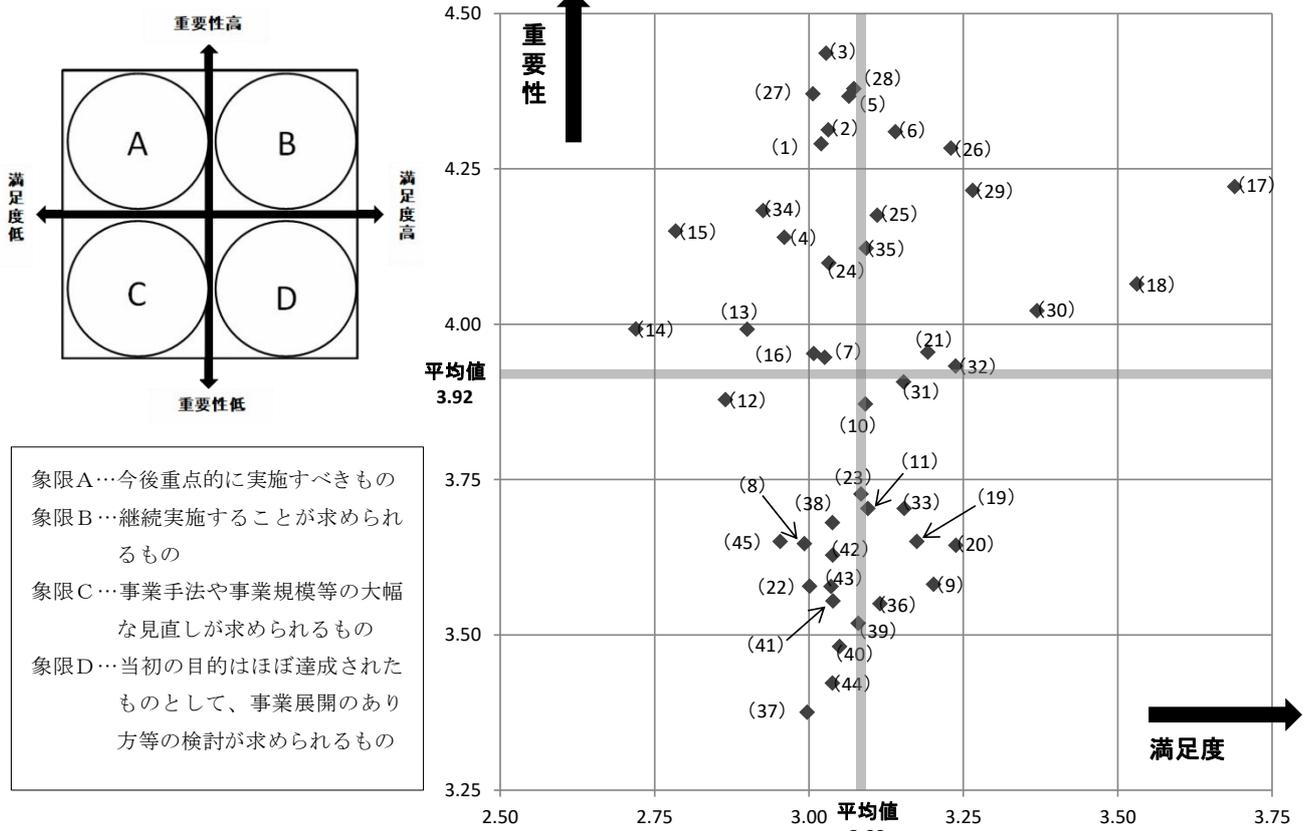
【今後の重要性（平均得点）（過去調査との比較）】

設問項目	H23年度	H25年度	H27年度	今回	H23年度からの増減
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	4.05	3.99	4.03	4.29	0.24
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	4.13	4.08	4.19	4.31	0.18
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	4.23	4.17	4.28	4.44	0.21
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	4.05	4.00	4.05	4.14	0.09
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	4.22	4.19	4.22	4.37	0.15
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	4.21	4.14	4.18	4.31	0.10
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	3.93	3.97	4.02	3.95	0.02
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	3.71	3.80	3.82	3.65	▲ 0.06
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	3.60	3.65	3.63	3.58	▲ 0.02
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	3.85	3.79	3.91	3.87	0.02
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	3.68	3.68	3.70	3.70	0.02
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	3.88	3.88	3.89	3.88	0.00
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	4.00	3.98	4.00	3.99	▲ 0.01
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	4.00	3.96	3.99	3.99	▲ 0.01
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	4.23	4.17	4.12	4.15	▲ 0.08
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	3.93	3.89	3.94	3.95	0.02
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	4.16	4.19	4.25	4.22	0.06
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	3.94	4.01	4.03	4.06	0.12
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	3.61	3.71	3.68	3.65	0.04
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	3.60	3.71	3.70	3.64	0.04
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	3.92	4.00	4.03	3.96	0.04
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	3.87	3.91	3.97	3.58	▲ 0.29
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	3.79	3.86	3.86	3.73	▲ 0.06
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	3.99	4.04	4.03	4.10	0.11
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	4.06	4.07	4.08	4.18	0.12
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	4.20	4.17	4.17	4.28	0.08
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	4.22	4.18	4.21	4.37	0.15
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	4.27	4.23	4.25	4.38	0.11
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	4.16	4.13	4.14	4.22	0.06
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	3.91	3.87	3.92	4.02	0.11
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	3.87	3.84	3.87	3.91	0.04
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	3.94	3.86	3.89	3.93	▲ 0.01
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	3.70	3.71	3.75	3.70	0.00
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	3.95	4.02	4.04	4.18	0.23
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	3.95	3.98	4.00	4.12	0.17
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	3.60	3.62	3.60	3.55	▲ 0.05
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	3.49	3.51	3.52	3.38	▲ 0.11
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	3.72	3.71	3.76	3.68	▲ 0.04
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	3.57	3.61	3.65	3.52	▲ 0.05
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	3.47	3.55	3.63	3.48	0.01
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	3.34	3.38	3.37	3.55	0.21
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	3.44	3.44	3.42	3.63	0.19
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	3.53	3.52	3.56	3.58	0.05
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	3.42	3.47	3.49	3.42	0.00
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	3.89	3.77	3.79	3.65	▲ 0.24

(4象限マトリックス分析) 現状の満足度と今後の重要性

・満足度が低く、重要性が高いことから今後重点的に実施すべきものと考えられるのは、「①福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進」、「③介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実」、「④障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実」、「⑬中小企業の育成などものづくり力の強化」、「⑭商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興」、「⑮就職活動への支援など雇用・就業対策の充実」、「⑳耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進」、「㉑公共交通網の充実など交通網の構築」などで、産業、福祉、防災などの分野がみられる。

【満足度と重要度の4象限マトリックス分析の結果】



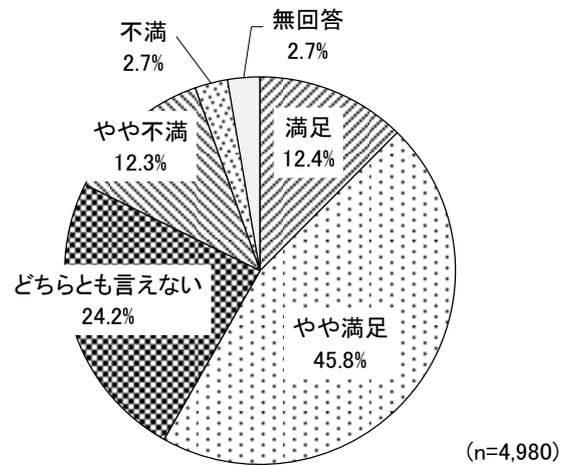
施策の主な内容	象限
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	A
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	A
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	A
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	A
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	A
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	B
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	A
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	C
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	D
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	D
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	D
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	C
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	A
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	A
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	A
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	A
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	B
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	B
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	D
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	D
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	B
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	C
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	C

施策の主な内容	象限
㉔ 環境を守る活動支援など環境の保全	A
㉕ ごみの減量化など循環型社会の形成	B
㉖ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	B
㉗ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	A
㉘ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	A
㉙ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	B
㉚ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	B
㉛ 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	D
㉜ 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	B
㉝ 都市景観の創出など都市空間の形成	D
㉞ 公共交通網の充実など交通網の構築	A
㉟ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	B
㊱ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	D
㊲ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	C
㊳ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	C
㊴ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	C
㊵ 男女共同参画意識の啓発など男女共同参画社会の実現	C
㊶ インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	C
㊷ 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	C
㊸ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	C
㊹ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	C
㊺ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	C

問10 総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか

- ・「やや満足」を含めると、58.2%が生活に満足していると回答している。一方、「やや不満」を含めて、生活に不満があるという回答割合は15.0%となっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代で「満足」、「やや満足」の回答割合が66.7%ともっとも高く、次いで、70歳代以上の61.6%となっており、60歳代で54.8%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックで「満足」、「やや満足」の回答割合が65.5%ともっとも高く、次いで中部第二ブロックで63.0%、広畑ブロックで61.2%となっている。一方、家島ブロックでは35.5%ともっとも低くなっている。

【姫路市における生活に満足しているか】

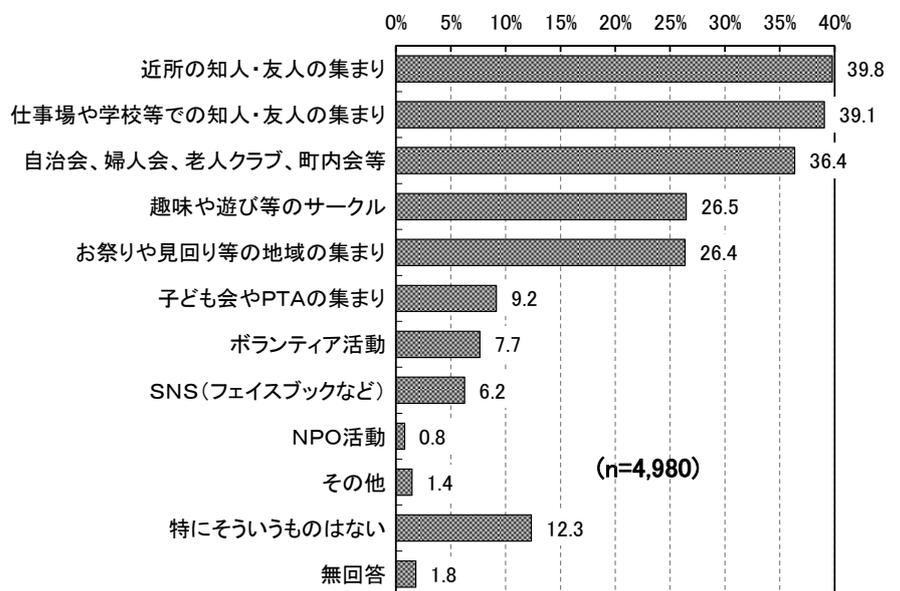


(5)地域における「他者とのつながり」や「地域活動」について

問11 他者との「つながり」を感じる場はどれですか

- ・「近所の知人・友人の集まり」の回答割合が39.8%でもっとも高く、次いで「仕事場や学校等での知人・友人の集まり」が39.1%、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」が36.4%となっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代から50歳代では「仕事場や学校等での知人・友人の集まり」の回答割合が半数を超えもっとも高く、60歳代、70歳代以上では「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」(60歳代45.3%・70歳代以上52.7%)の回答割合がもっとも高くなっている。また、10歳代から30歳代では、全体より「SNS(フェイスブックなど)」(10歳代20.6%・20歳代20.8%・30歳代15.3%)の回答割合が高くなっている。

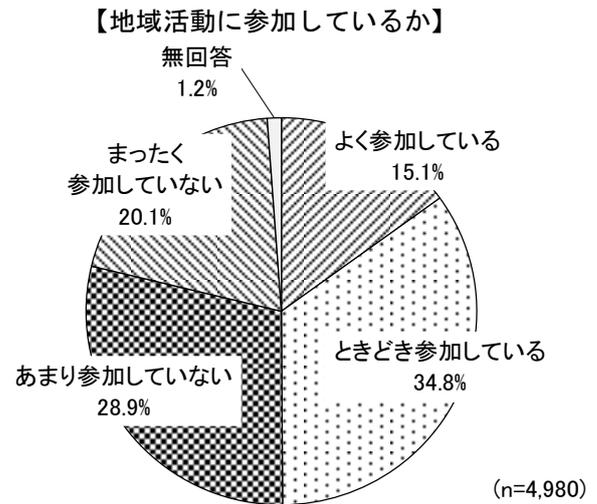
【他者との「つながり」を感じる場(複数回答)】



- ・居住地別にみた場合、灘ブロックでは「お祭りや見回り等の地域の集まり」の回答割合が34.8%と全体より高くなっている。また、安富、香寺ブロックでは「近所の知人・友人の集まり」（安富58.5%・香寺45.4%）、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」（安富41.5%・香寺49.2%）の回答割合が全体より高くなっている。

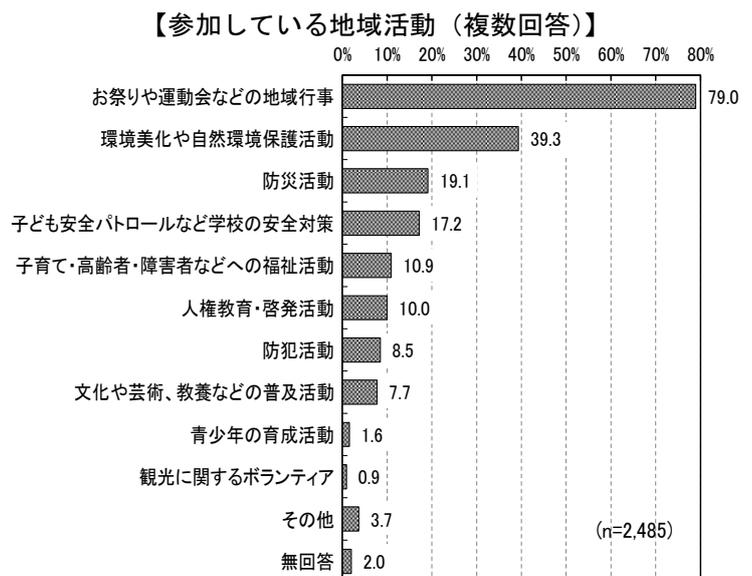
問12-1 地域活動（地域のお祭りや自治会での防犯活動など）に参加していますか

- ・「ときどき参加している」を含めると、約半数が参加していると回答している。一方、「まったく参加していない」は約20%となっている。
- ・年齢別にみた場合、60歳代で「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合が54.0%ともっとも高く、次いで40歳代で52.9%となっており、20歳代で29.1%ともっとも低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、香寺ブロックで「よく参加している」、「ときどき参加している」の回答割合が66.1%ともっとも高く、次いで安富ブロックの60.3%、夢前ブロックの56.4%となっており、中部第二ブロックで44.2%ともっとも低くなっている。



問12-2 参加している地域活動はなんですか

- ・「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が79.0%でもっとも高く、次いで「環境美化や自然環境保護活動」が39.3%、「防災活動」が19.1%となっている。
- ・年齢別にみた場合、すべての年齢において、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合がもっとも高くなっている。60歳代、70歳代以上では「環境美化や自然環境保護活動」（60歳代46.1%・70歳代以上44.3%）の回答割合が全体より高く、60歳代では「防災活動」（27.2%）、

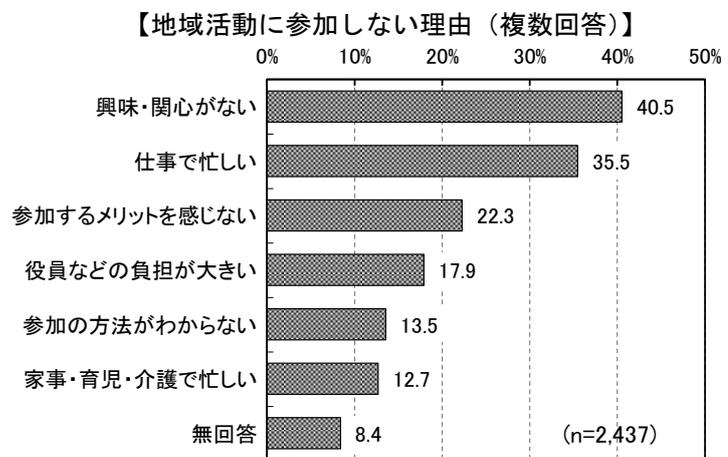


70 歳代以上では「文化や芸術、教養などの普及活動」(14.2%) の回答割合も全体より高くなっている。30 歳代、40 歳代で「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」(30 歳代 32.2%・40 歳代 32.9%) の回答割合が全体より高くなっている。

- ・居住地別にみた場合、すべての居住地において、「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合がもっとも高くなっている。また東部、香寺ブロックでは「環境美化や自然環境保護活動」(東部 51.0%・香寺 57.9%) の回答割合も高く、夢前、安富、香寺、中部第一ブロックでは「防災活動」(夢前 31.4%・安富 31.3%・香寺 27.3%・中部第一 24.1%) の回答割合が全体より高くなっている。

問 1 2 - 3 地域活動に参加しない理由はなんですか

- ・「興味・関心がない」の回答割合が 40.5% でもっとも高く、次いで「仕事で忙しい」が 35.5%、「参加するメリットを感じない」が 22.3% となっている。



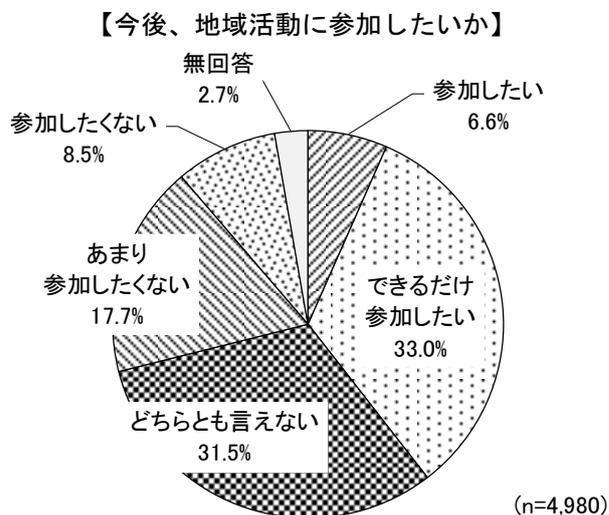
- ・年齢別にみた場合、20 歳代から 50 歳代においては、「仕事で忙しい」の回答割合が約半数ともっとも高くなっており、次いで「興味・関心がない」(20 歳代 42.7%・30 歳代 45.9%・40 歳代 40.9%・50 歳代 38.8%) となっている。40 歳代、50 歳代では「役員などの負担が大きい」(40 歳代 25.5%・50 歳代 23.1%) の回答割合が全体より高くなっている。また、10 歳代、30 歳代では「興味・関心がない」(10 歳代 48.9%・30 歳代 45.9%) の回答割合が、20 歳代、30 歳代では「参加の方法がわからない」(20 歳代 21.8%・30 歳代 21.0%) の回答割合が全体より高くなっている。

また、10 歳代、30 歳代では「興味・関心がない」(10 歳代 48.9%・30 歳代 45.9%) の回答割合が、20 歳代、30 歳代では「参加の方法がわからない」(20 歳代 21.8%・30 歳代 21.0%) の回答割合が全体より高くなっている。

- ・居住地別にみた場合、安富、夢前、家島ブロックで「興味・関心がない」(安富 52.4%・夢前 49.4%・家島 46.7%) の回答割合が高くなっている。また、網干ブロックでは「役員などの負担が大きい」も 23.4% と全体より回答割合が高くなっている。

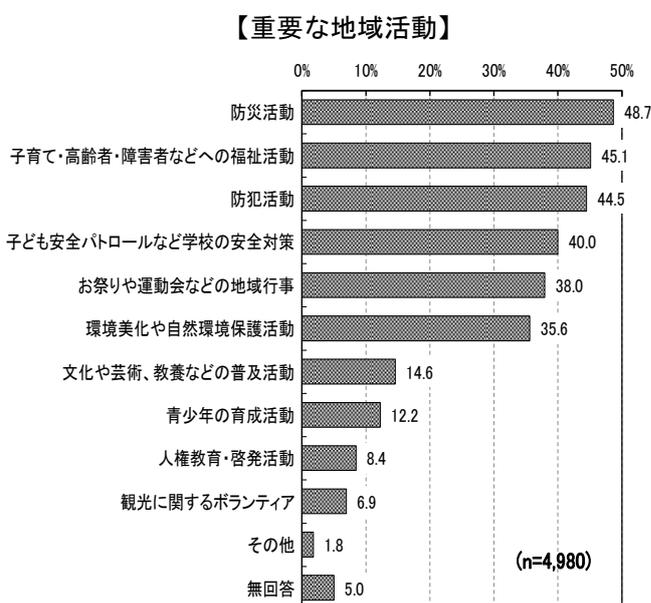
問13 地域活動に今後、参加したいと思えますか

- ・「できるだけ参加したい」を含めると、約40%が参加したいと回答している。一方、「あまり参加したくない」を含めて、参加したくないという回答割合は約25%になっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代で「参加したい」、「できるだけ参加したい」との回答割合が45.0%ともっとも高く、次いで70歳代以上が44.7%となっている。一方、20歳代で34.0%、30歳代で33.7%と低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、香寺ブロックで「参加したい」、「できるだけ参加したい」の回答割合が54.6%ともっとも高く、次いで安富ブロックが52.8%となっている。



問14 重要だと思う地域活動はなんですか

- ・「防災活動」の回答割合が48.7%でもっとも高く、次いで「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」が45.1%、「防犯活動」が44.5%となっている。
- ・年齢別にみた場合、20歳代から40歳代では「子ども安全パトロールなど学校の安全対策」の回答割合が半数を超えている。10歳代から30歳代では「お祭りや運動会などの地域行事」(10歳代56.7%・20歳代44.2%・30歳代43.9%)の回答割合が全体より高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、香寺ブロックでは「防災活動」の回答割合が54.6%で全体よりも高く、灘ブロックでは「お祭りや運動会などの地域行事」の回答割合が46.1%ともっとも高くなっている。また、家島、安富ブロックでは「子育て・高齢者・障害者などへの福祉活動」(家島54.8%・安富54.7%)の回答割合が高くなっている。



(6)人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について

問15-1、15-2 若者にとって魅力的なまちになるために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか

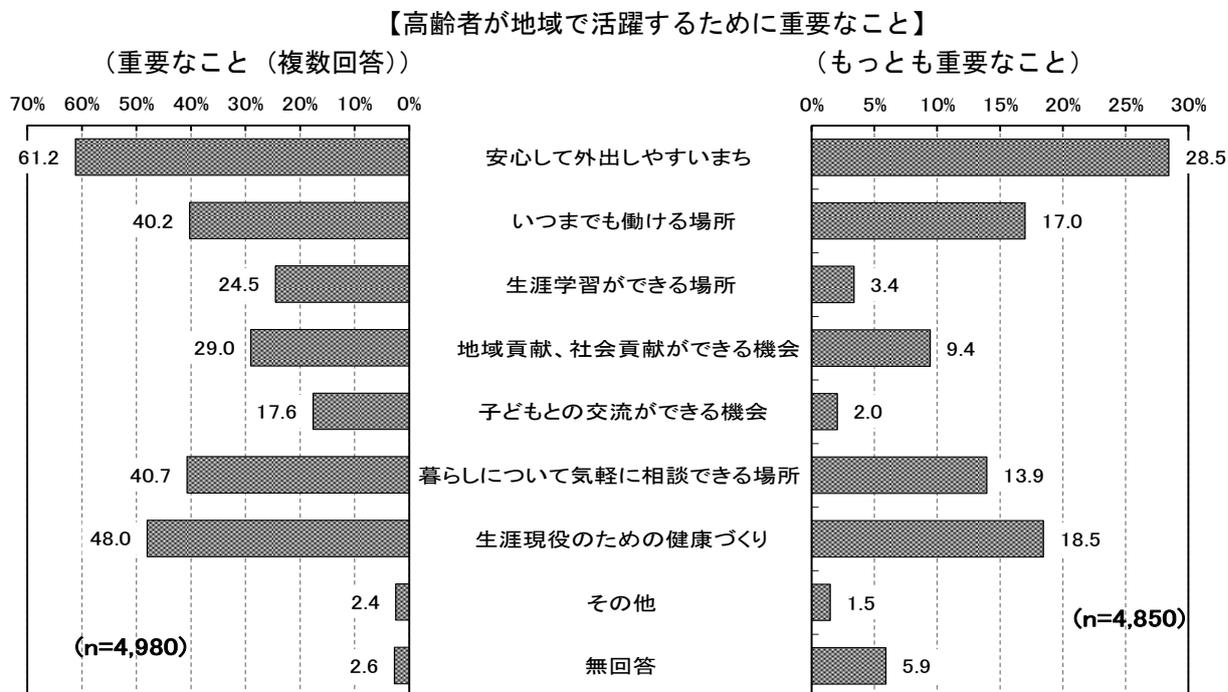
【重要なこと】

- ・重要なこととしては、「充実した医療・福祉」の回答割合が61.6%ともっとも高く、次いで「充実した教育・子育て環境」が56.2%、「便利な公共交通」が55.1%となっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「多くの集客が見込まれるイベント」（10歳代42.2%・20歳代43.3%）、「外国人を対象にした観光戦略」（10歳代17.8%・20歳代17.3%）、「東京など大都市と比べ安い生活費」（10歳代44.4%・20歳代43.6%）、「にぎやかな中心市街地」（10歳代50.0%・20歳代38.8%）の回答割合が全体より高くなっている。また、20歳代から50歳代では「ワーク・ライフ・バランス」（20歳代29.2%・30歳代29.4%・40歳代28.5%・50歳代28.6%）の回答割合が全体より高く、20歳代から40歳代および60歳代では「充実した教育・子育て環境」の回答割合が60%を超え全体より高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、中部第一ブロックでは「にぎやかな中心市街地」（36.1%）、「多くの集客が見込まれるイベント」（34.1%）、「外国人を対象にした観光戦略」（17.5%）の回答割合が全体より高くなっている。夢前、香寺ブロックでは「便利な公共交通」（夢前63.0%・香寺63.4%）の回答割合が全体より高くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・もっとも重要なこととしては、「充実した教育・子育て環境」の回答割合が17.4%ともっとも高く、「充実した医療・福祉」が15.4%、「起業家支援、魅力ある雇用」が12.2%となっている。
- ・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では、全体より「にぎやかな中心市街地」（10歳代21.2%・20歳代13.8%）の回答割合が高く、「充実した医療・福祉」（10歳代6.7%・20歳代5.1%）が低くなっている。また、30歳代では、全体より「充実した教育・子育て環境」の回答割合が31.1%と高く、「充実した医療・福祉」は10.4%と低くなっている。
- ・居住地別にみた場合、家島、香寺ブロックでは「便利な公共交通」（家島17.2%・香寺14.0%）の回答割合が全体より高くなっている。

- ・年齢別にみた場合、40歳代、50歳代では「いつまでも働ける場所」（40歳代 25.5%・50歳代 22.0%）の回答割合が全体より高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、家島、東部ブロックでは「安心して外出しやすいまち」（家島 39.3%・東部 33.7%）の回答割合が全体より高くなっている。



問17-1、17-2 安心して子育てしやすい環境にするために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか

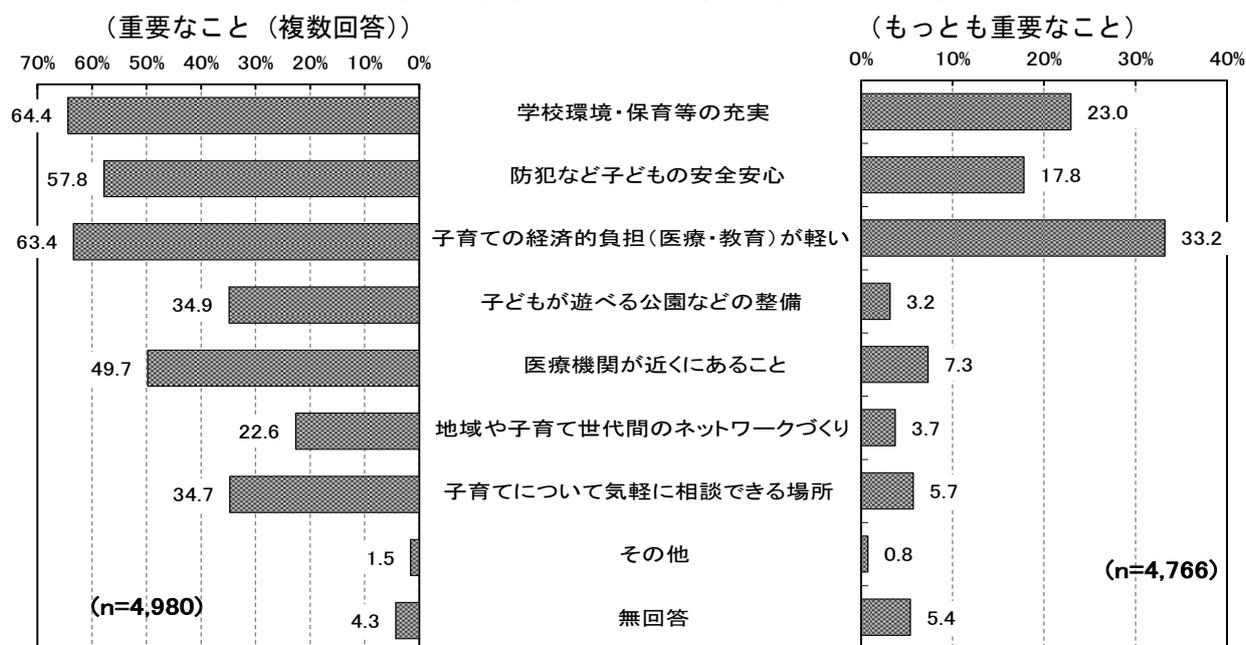
【重要なこと】

- ・重要なこととしては、「学校環境・保育等の充実」の回答割合が64.4%ともっとも高く、次いで「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」が63.4%、「防犯など子どもの安全安心」が57.8%となっている。
- ・年齢別にみた場合、20歳代から40歳代では「防犯など子どもの安全安心」（20歳代 67.6%・30歳代 70.2%・40歳代 64.2%）、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」（20歳代 74.7%・30歳代 80.2%・40歳代 72.7%）の回答割合が全体より高くなっている。また、20歳代および50歳代では「地域や子育て世代間のネットワークづくり」（20歳代 30.1%・50歳代 27.6%）の回答割合も全体より高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、東部、家島、夢前、安富ブロックでは「医療機関が近くにあること」（東部 55.1%・家島 58.1%・夢前 58.0%・安富 54.7%）の回答割合が全体より高くなっている。また、夢前、安富ブロックでは「子育てについて気軽に相談できる場所」（夢前 40.3%・安富 43.4%）の回答割合が全体より高くなっているが、家島、香寺ブロック（家島 22.6%・香寺 26.8%）では低くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・もっとも重要なこととしては、「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」の回答割合が 33.2%ともっとも高く、「学校環境・保育等の充実」が 23.0%、「防犯など子どもの安全安心」が 17.8%となっている。
- ・年齢別にみた場合、30 歳代、40 歳代では「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」（30 歳代 43.5%・40 歳代 38.3%）の回答割合が全体より高く、70 歳代以上では「医療機関が近くにあること」の回答割合が 13.4%と全体より高くなっている。
- ・居住地別にみた場合、家島、中部第一ブロックで「学校環境・保育等の充実」（家島 39.3%・中部第一 28.3%）の回答割合が全体より高くなっている。また、網干、安富ブロックでは「子育ての経済的負担（医療・教育）が軽い」（網干 39.7%・安富 42.3%）の回答割合が全体より高くなっているが、家島、香寺ブロック（家島 21.4%・香寺 28.2%）では低くなっている。

【安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと】



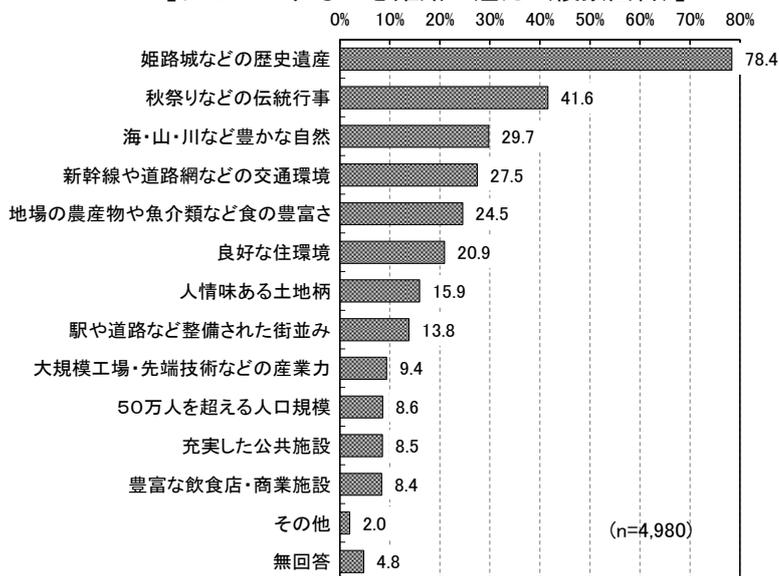
問18 アピールすべき姫路の魅力はなんですか

・「姫路城などの歴史遺産」の回答割合が78.4%ともっとも高く、次いで「秋祭りなどの伝統行事」が41.6%、「海・山・川など豊かな自然」が29.7%となっている。

・年齢別にみた場合、10歳代、20歳代では「秋祭りなどの伝統行事」（10歳代53.9%・20歳代49.0%）の回答割合が全体より高くなっているが、「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」（10歳代15.6%・20歳代15.4%）、「良好な住環境」（10歳代11.7%・20歳代15.7%）の回答割合は全体より低くなっている。

・居住地別にみた場合、灘、飾磨、広畑、網干ブロックでは「秋祭りなどの伝統行事」（灘57.1%・飾磨49.0%・広畑47.7%・網干50.8%）の回答割合が全体より高くなっている。一方、西部、家島、夢前、安富ブロックでは「海・山・川など豊かな自然」（西部35.7%・家島38.7%・夢前41.4%・安富43.4%）の回答割合が全体より高くなっている。また、中部第一ブロックでは「新幹線や道路網などの交通環境」（35.3%）、「良好な住環境」（26.9%）の回答割合が全体より高くなっている。

【アピールすべき姫路の魅力（複数回答）】



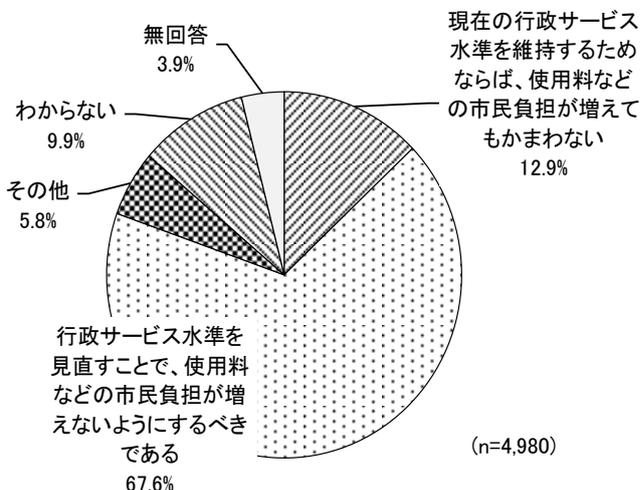
(7)行政サービスの水準と市民負担について

問19 行政サービスの水準、市民負担についてあなたの考えに近いものはどれですか

・「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が67.6%となっており、「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」は12.9%になっている。

・年齢別にみた場合、10歳代以外では「行政サービス水準を見直

【行政サービス水準と市民負担】



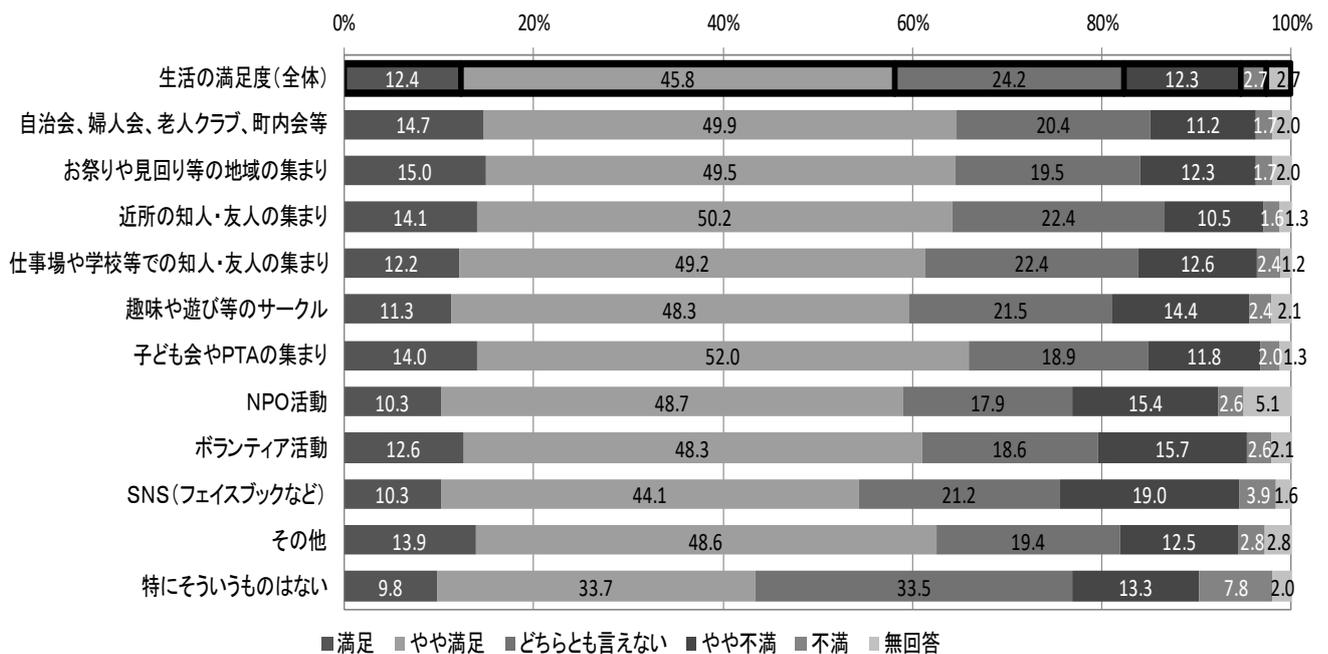
すことで、使用料などの市民負担が増えないようにするべきである」の回答割合が65%以上となっており、10歳代では、50.0%となっている。

- ・居住地別にみた場合、大きな差異は見られないが、安富ブロックでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」の回答割合が18.9%と高くなっている。

(8)「他者とのつながりを感じる場」と「姫路市における生活の満足度」の関係について (項目間クロス分析)

- ・他者とのつながりを感じる場として、「自治会、婦人会、老人クラブ、町内会等」、「お祭りや見回り等の地域の集まり」、「近所の知人・友人の集まり」、「子ども会やPTAの集まり」と回答した場合、「満足」、「やや満足」(64.6%・64.5%・64.3%・66.0%)の回答割合が高くなっている。一方で、「SNS(フェイスブックなど)」と回答した場合、「やや不満」(19.0%)の回答割合が全体より高く、「特にそういうものはない」と回答した場合、「不満」(7.8%)の回答割合が全体より高くなっている。

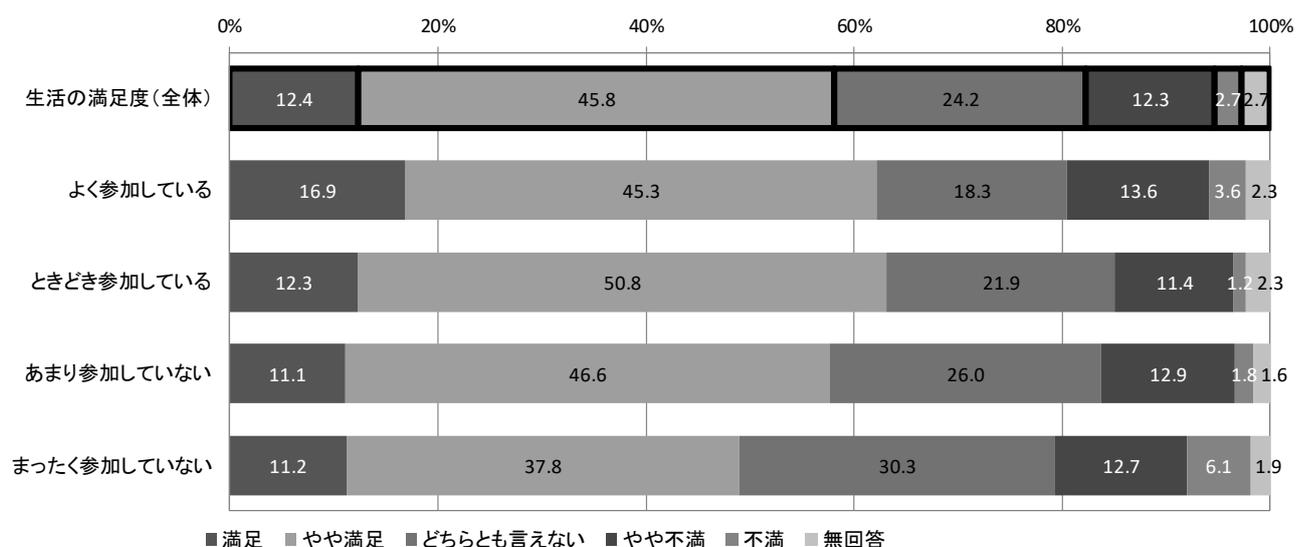
【「他者とのつながりを感じる場」別にみた「生活の満足度」】



(9)「地域活動への参加状況」と「姫路市における生活の満足度」の関係について（項目間クロス分析）

- ・地域活動によく参加している場合、「満足」（16.9％）の回答割合が全体より高くなっている。
- ・地域活動にまったく参加していない場合、全体より「やや満足」（37.8％）の回答割合が低く、「どちらとも言えない」（30.3％）の回答割合が高くなっている。

【「地域活動への参加状況」別にみた「生活の満足度」】



Ⅱ. 有識者（学識者、地域団体）アンケート及び職員アンケート

1. 調査の目的と実施概要

【有識者（学識者、地域団体）アンケート】

(1)調査の目的

姫路市まちづくりのための有識者アンケート調査は、新たな総合計画の策定にあたり、市政にかかわりが深く、市内外に在住する各種審議会等の委員や自治会・婦人会等の有識者に対して、姫路市の特性や課題、将来像について意見を伺うために実施した。

(2)調査実施概要

①調査対象者

対象者：658名 内 訳：学識者（各種審議会委員、ふるさと懇話会）…551名
地域団体（各種団体の長）…107名

②調査票配布・回収方法

郵送により調査票を配布・回収（希望者はwebから調査票をダウンロード）。なお、督促葉書を送付することにより回収率の向上を図った。

③調査期間

平成30年8月29日（水）発送～9月21日（金）〆切

④調査内容

【学識者】

- ア. 回答者の属性（居住地、性別、年齢、専門分野）
- イ. 居住地域と姫路市の違いについて（姫路市の住みよさ、姫路市及び居住地域の優れている行政サービス、他市区町村の取組）
- ウ. 姫路市の課題について
- エ. 今後の姫路のまちづくりにとって必要な取組について
- オ. 行政サービスの水準と市民負担について
- カ. 将来像やまちづくりのあり方などに関する自由意見

【地域団体】

- ア. 回答者の属性（居住地、性別、年齢）
- イ. 住みやすさや定住意向について（姫路の住みよさ、定住意向、生活満足度、姫路市内での居住の勧め）
- ウ. 所属する地域団体の活動について
- エ. 今後の姫路のまちづくりにとって必要な取組について
- オ. 行政サービスの水準と市民負担について
- カ. 将来像やまちづくりのあり方などに関する自由意見

⑤回収率

	学識者	地域団体	前回（H18.9）
発送数	551票	107票	514票
回収数	259票	91票	353票
有効回収率	47.0%	85.0%	68.7%

【職員アンケート】

(1)調査の目的

姫路市まちづくりのための職員アンケート調査は、新たな総合計画の策定にあたり、直接市政運営に携わる本市職員を対象に、総合計画や本市の課題および今後のまちづくりのあり方について意見を伺うために実施した。

(2)調査実施概要

①調査対象者

全職員（特別職、非常勤嘱託職員、臨時的任用職員を除く）3,960名

②調査票配布・回収方法

インターネットによる入力（一部の所属においては調査票（紙）による配布・回収）

③調査期間

平成30年10月25日（木）～11月20日（火）

④調査内容

- ア. 回答者の属性（居住地、性別、年齢、所属、職種、身分）
- イ. 姫路市の施策に対する充実度・重要性について
- ウ. 地方が直面する課題等について
- エ. 新市の一体性の進捗について
- オ. 行政サービスの水準と市民負担について
- カ. ふさわしい都市像やキャッチフレーズについて
- キ. 地域ブロックについて
- ク. 総合計画（ふるさと・ひめじプラン2020）について
- ケ. 次期総合計画策定について
- コ. 次期総合計画の策定や進捗管理に関する自由意見

⑤回収率

	今回	前回（H18.10）
発送数	3,960票	3,857票
回収数	3,593票	3,473票
有効回収数	3,593票	3,469票
有効回収率	90.7%	89.9%

2. 市民アンケートと有識者（学識者、地域団体）アンケートの比較

(1)人口減少の緩和と姫路市の活力を維持していくために必要な取組等について

①若者にとって魅力的なまちになるために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか

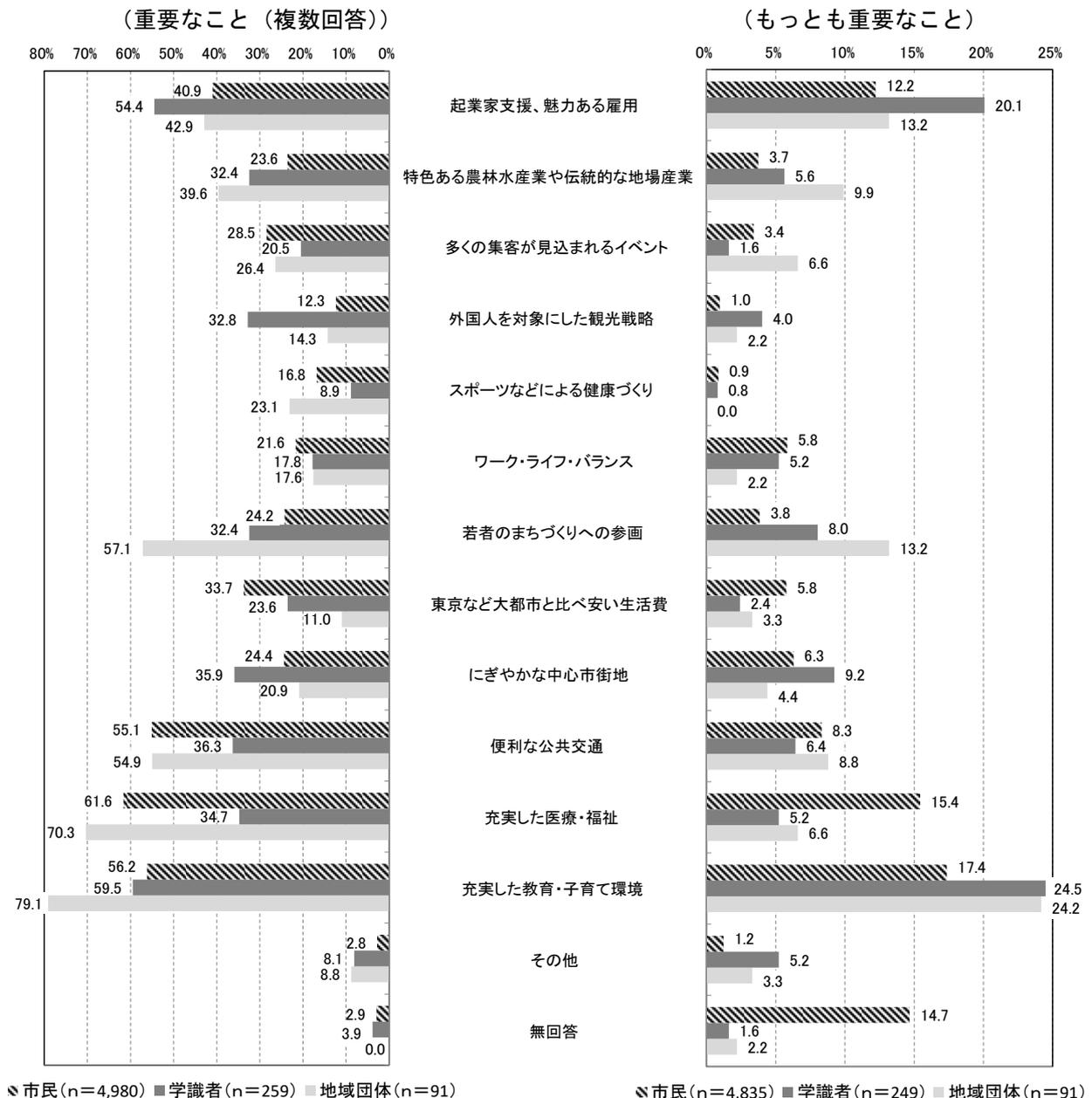
【重要なこと】

・重要なこととしては、学識者アンケートでは「外国人を対象とした観光戦略」(32.8%)、「にぎやかな中心市街地」(35.9%)の回答割合が高く、地域団体アンケートでは「若者のまちづくりへの参画」(57.1%)、「充実した教育・子育て環境」(79.1%)の回答割合が高くなっている。

【もっとも重要なこと】

・もっとも重要なこととしては、学識者アンケートでは「起業家支援、魅力ある雇用」(20.1%)の回答割合が高く、市民アンケートでは「充実した医療・福祉」(15.4%)の回答割合が高くなっている。

【若者にとって魅力的なまちになるために重要なこと】



②高齢者が地域でいきいきと活躍するために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか

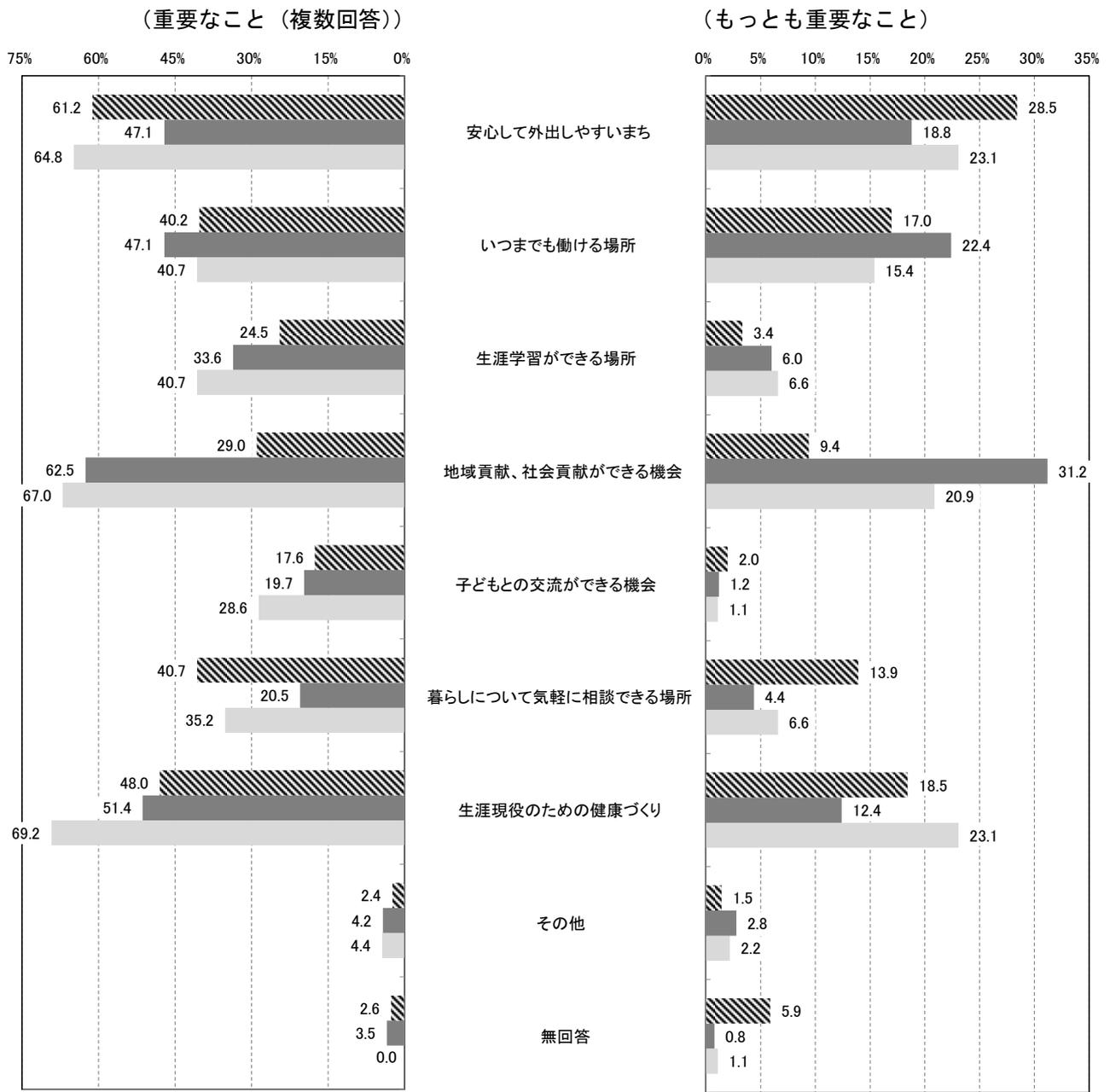
【重要なこと】

- ・重要なこととしては、市民アンケートでは「地域貢献、社会貢献ができる機会」(29.0%)の回答割合が低く、地域団体アンケートでは「生涯現役のための健康づくり」(69.2%)の回答割合が高くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・もっとも重要なこととしては、市民アンケートでは「安心して外出しやすいまち」(28.5%)、「暮らしについて気軽に相談できる場所」(13.9%)の回答割合が高くなっている。

【高齢者が地域で活躍するために重要なこと】



市民(n=4,980) ■ 学識者(n=259) ■ 地域団体(n=91)

市民(n=4,850) ■ 学識者(n=250) ■ 地域団体(n=91)

③安心して子育てしやすい環境にするために、重要、もっとも重要だと思うことはなんですか

【重要なこと】

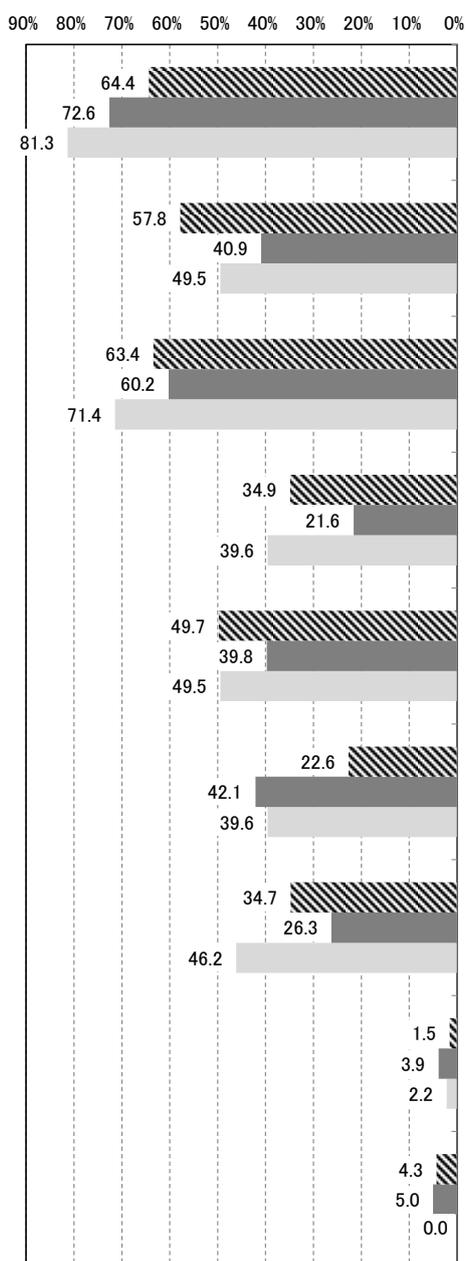
- ・重要なこととしては、市民アンケートでは「地域や子育て世代間のネットワークづくり」(22.6%)の回答割合が低く、地域団体アンケートでは「子育てについて気軽に相談できる場所」(46.2%)の回答割合が高くなっている。

【もっとも重要なこと】

- ・もっとも重要なこととしては、全てのアンケートで、「子育ての経済的負担(医療・教育)が軽い」の回答割合が30%を超え高くなっている。また、学識者アンケートでは「学校環境・保育等の充実」(35.4%)の回答割合が高くなっている。

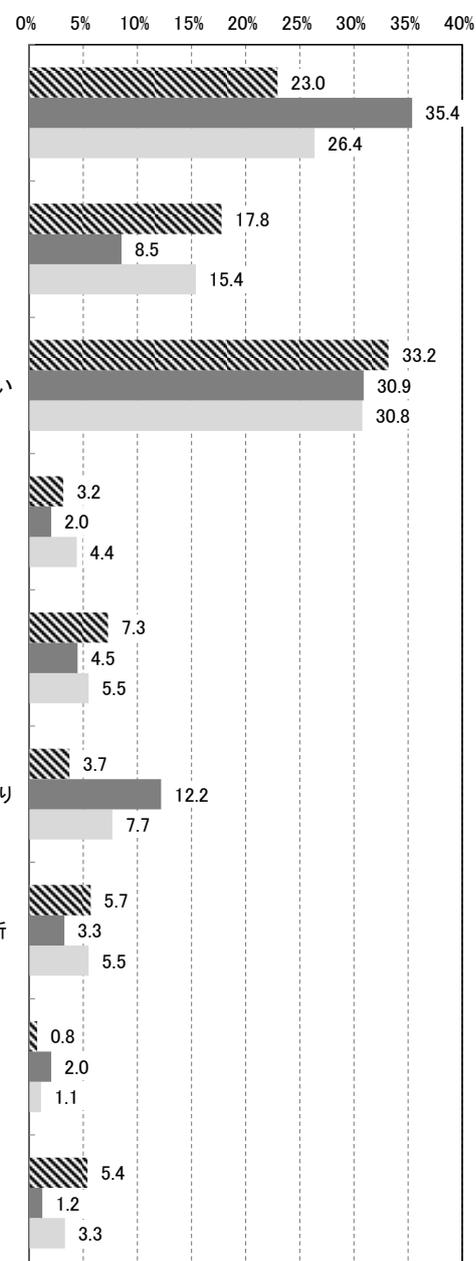
【安心して子育てしやすい環境にするために重要なこと】

(重要なこと (複数回答))



市民 (n=4,980) ■ 学識者 (n=259) ■ 地域団体 (n=91)

(もっとも重要なこと)

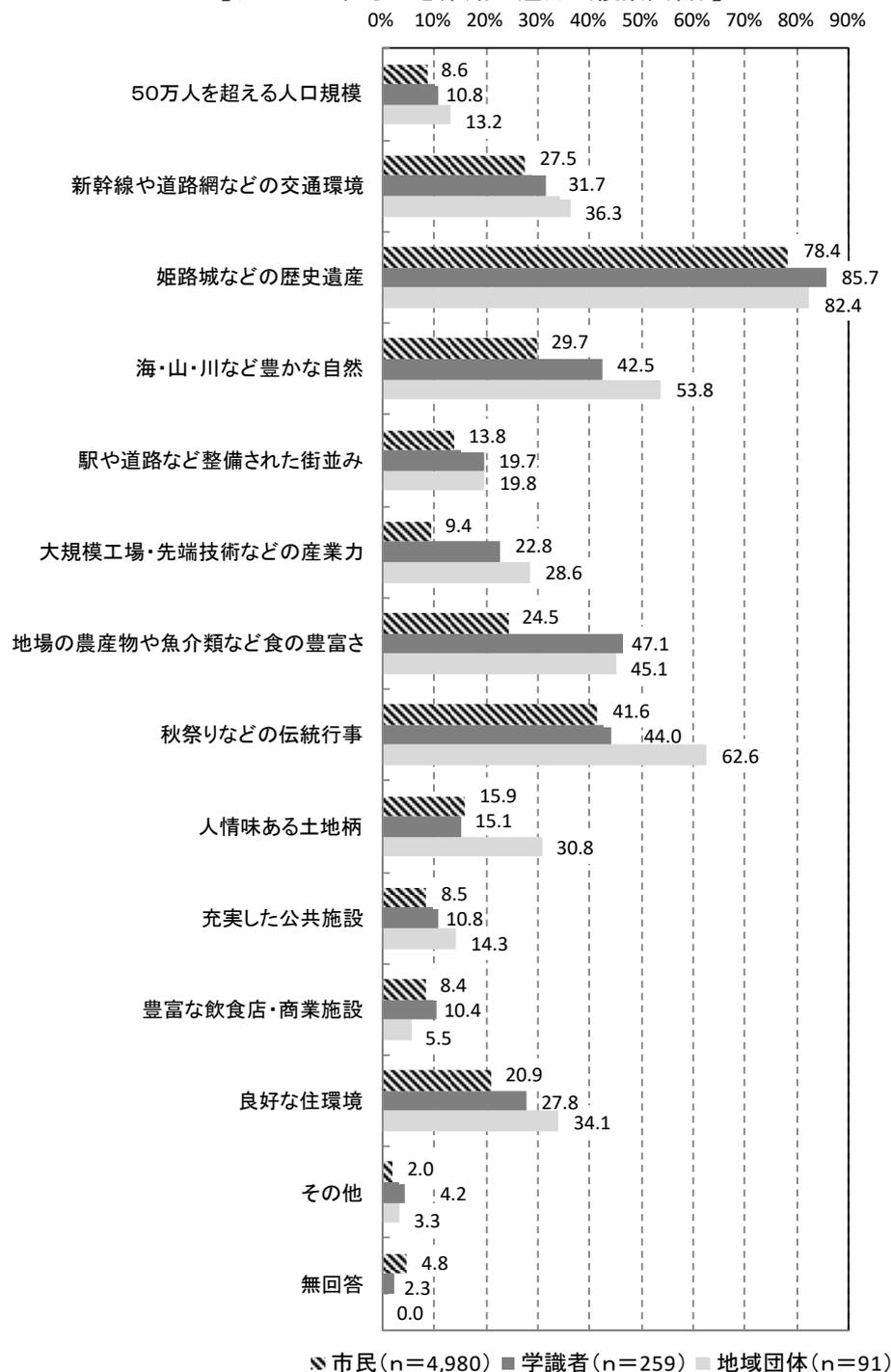


市民 (n=4,766) ■ 学識者 (n=246) ■ 地域団体 (n=91)

④アピールすべき姫路の魅力はなんですか

- ・全てのアンケート調査において、「姫路城などの歴史遺産」の回答割合が70%を超えてもっとも高くなっている。
- ・市民アンケートでは「海・山・川など豊かな自然」(29.7%)、「大規模工場・先端技術などの産業力」(9.4%)、「地場の農産物や魚介類など食の豊富さ」(24.5%)の回答割合が低く、地域団体アンケートでは「秋祭りなどの伝統行事」(62.6%)、「人情味ある土地柄」(30.8%)の回答割合が高くなっている。

【アピールすべき姫路の魅力（複数回答）】



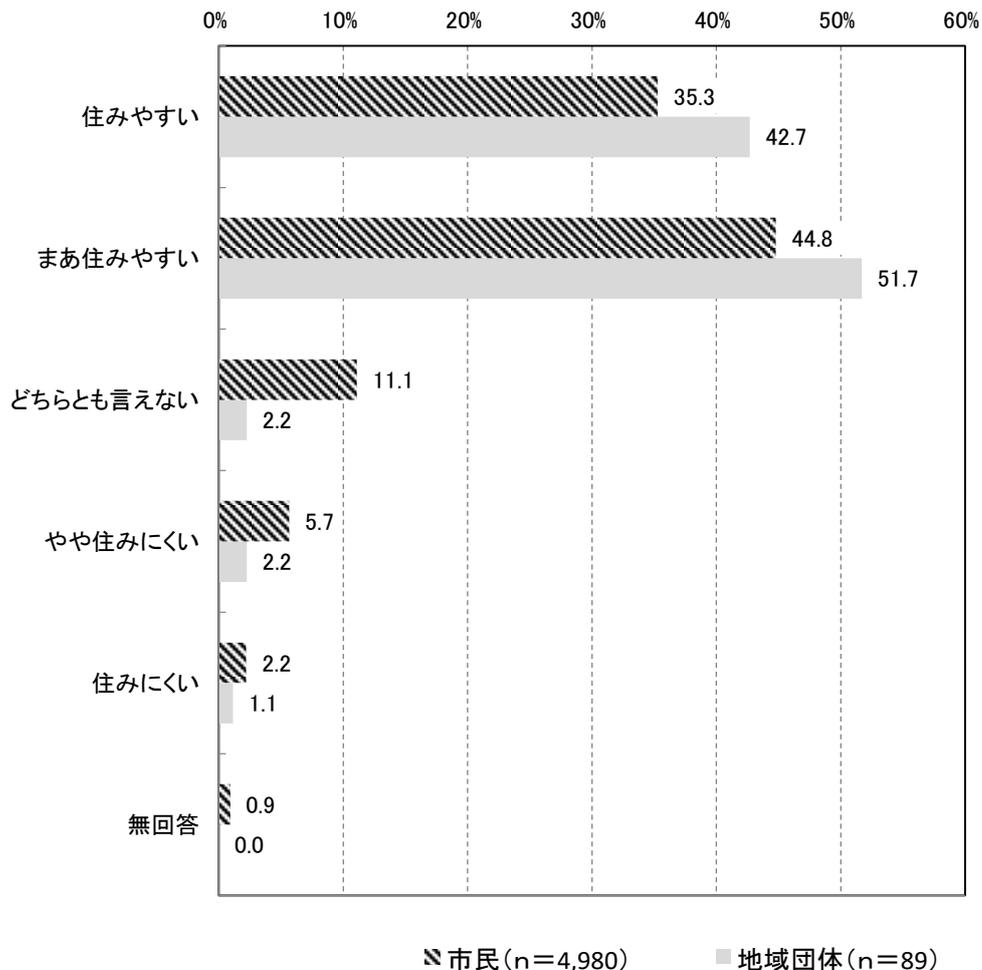
3. 市民アンケートと有識者（地域団体）アンケートの比較

(1)暮らしなどについて

①今の姫路は住みやすいと思いますか

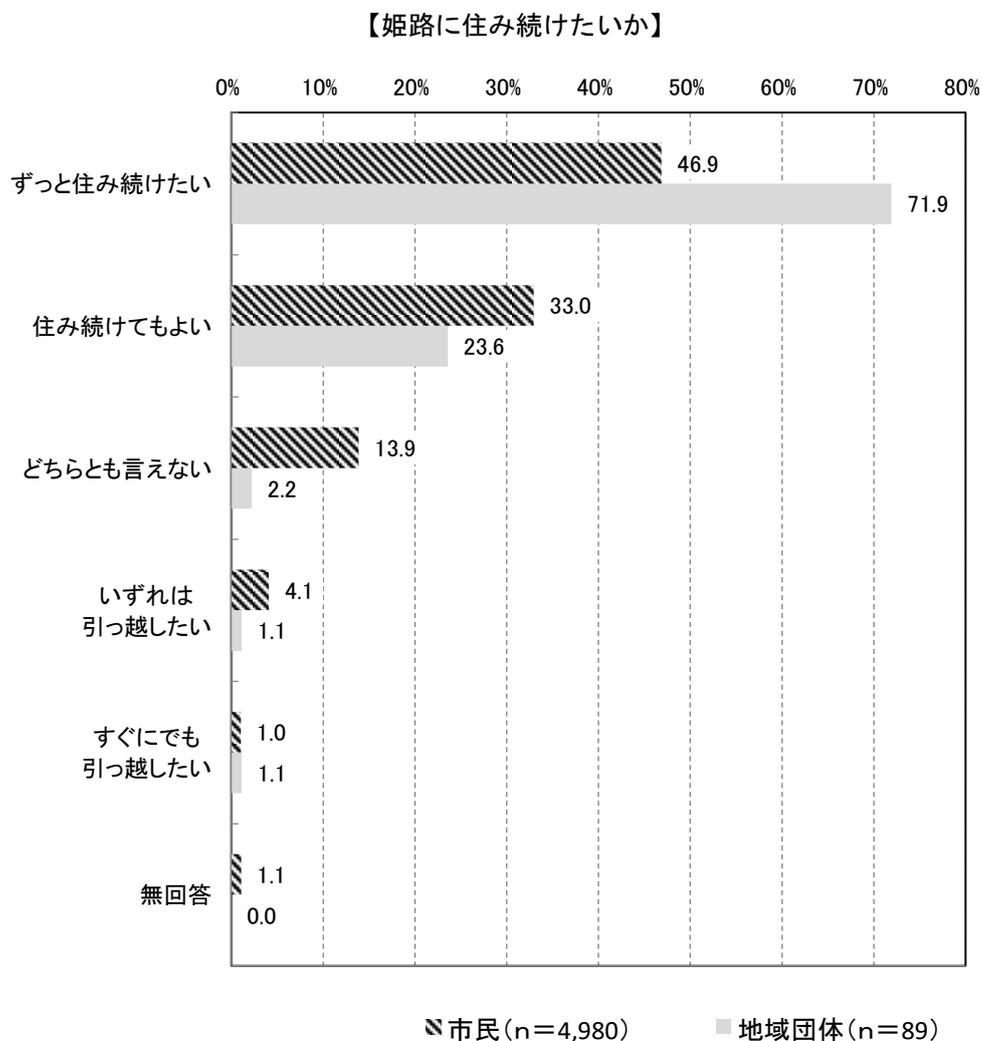
・「まあ住みやすい」を含めると、市民アンケートでは80.1%が住みやすいと回答している。地域団体アンケートでは94.4%となっている。また、市民アンケートでは「どちらとも言えない」の回答割合が11.1%と高くなっている。

【姫路の住みやすさ】



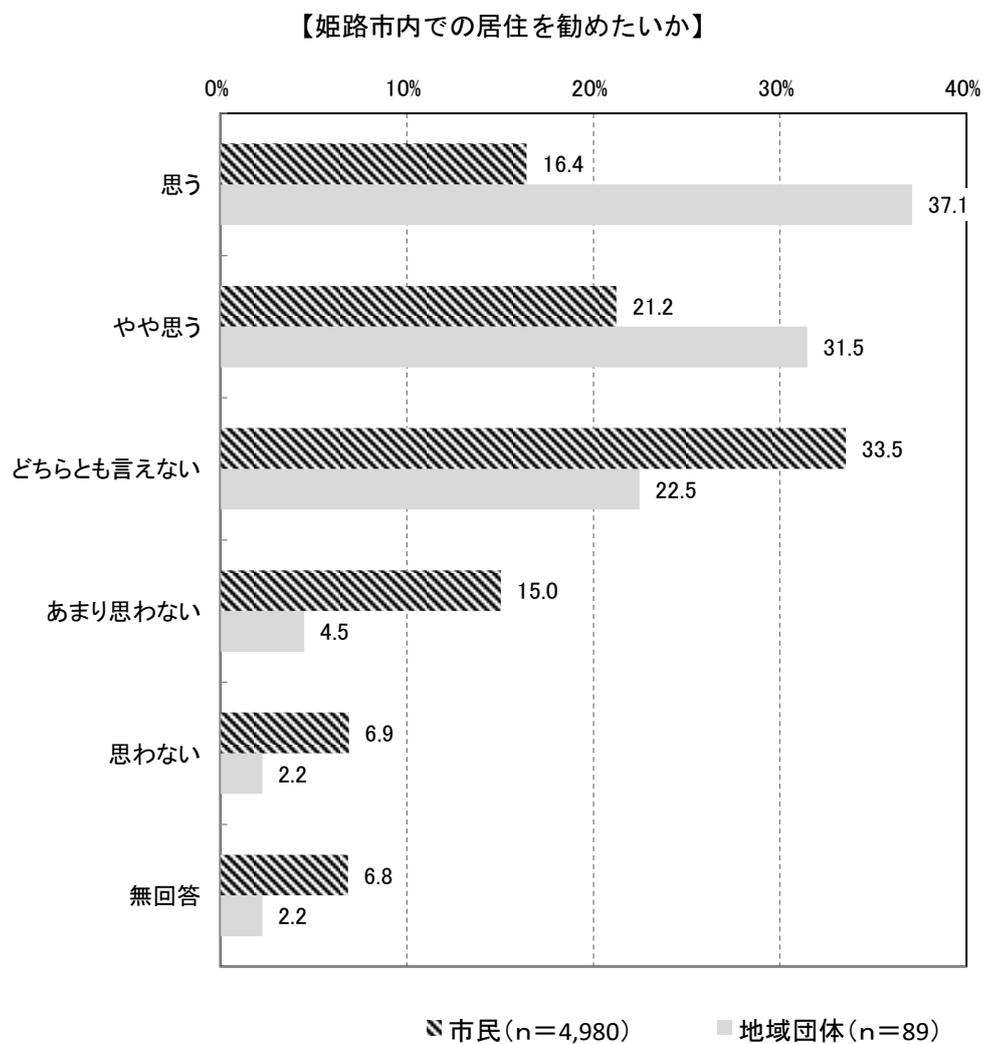
②これからも姫路に住み続けたいですか

- ・「ずっと住み続けたい」の回答割合が、市民アンケートでは46.9%、地域団体アンケートでは71.9%となっている。また、「住み続けてもよい」を含めると、市民アンケートでは79.9%、地域団体アンケートでは95.5%となっている。
- ・市民アンケートでは「どちらとも言えない」の回答割合が13.9%と高くなっている。



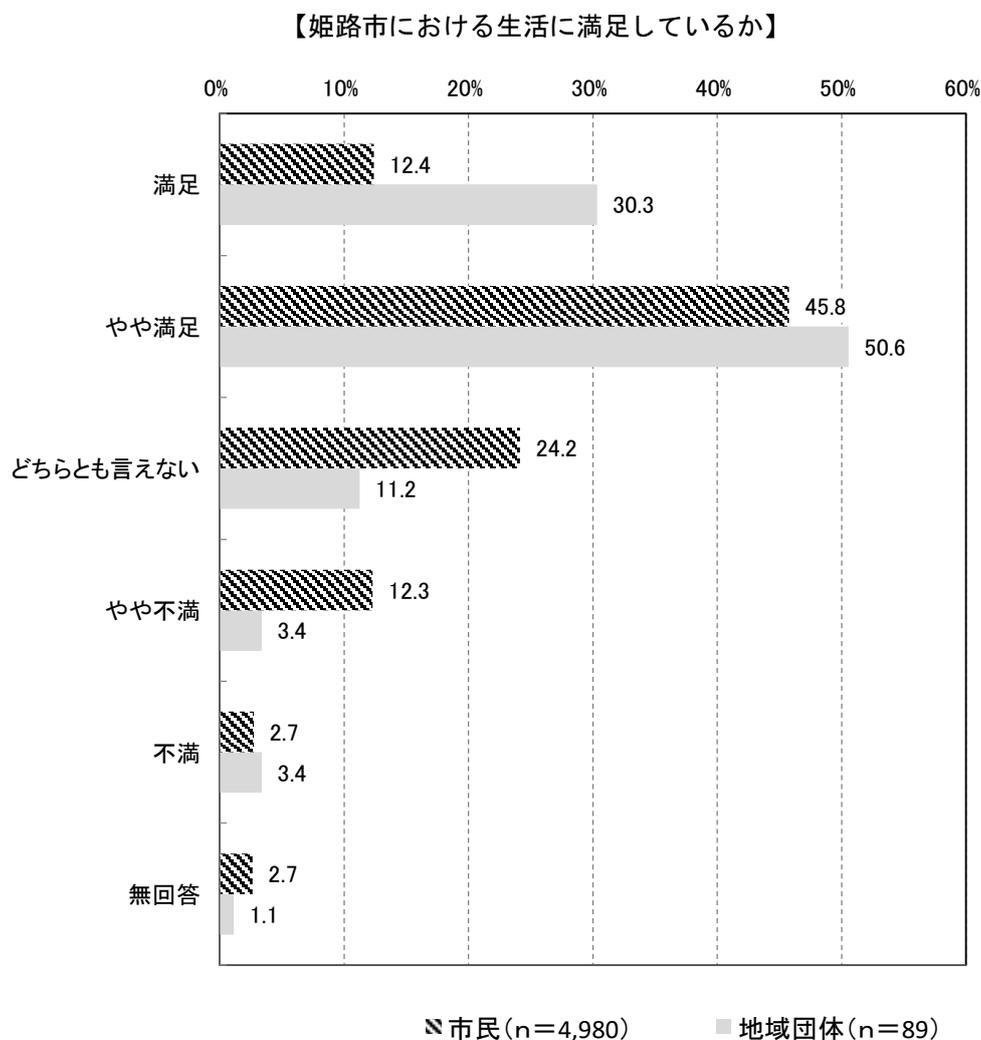
③姫路市外の方に姫路市内での居住を勧めたいと思いますか

- ・「思う」の回答割合が、市民アンケートでは 16.4%、地域団体アンケートでは 37.1%となっている。また、「やや思う」を含めると、市民アンケートでは 37.6%、地域団体アンケートでは 68.6%となっており、さらに大きな差が見られる。
- ・市民アンケートでは「どちらとも言えない」の回答割合が 33.5%と高くなっている。



④総合的にみて今の姫路市における生活に満足していますか

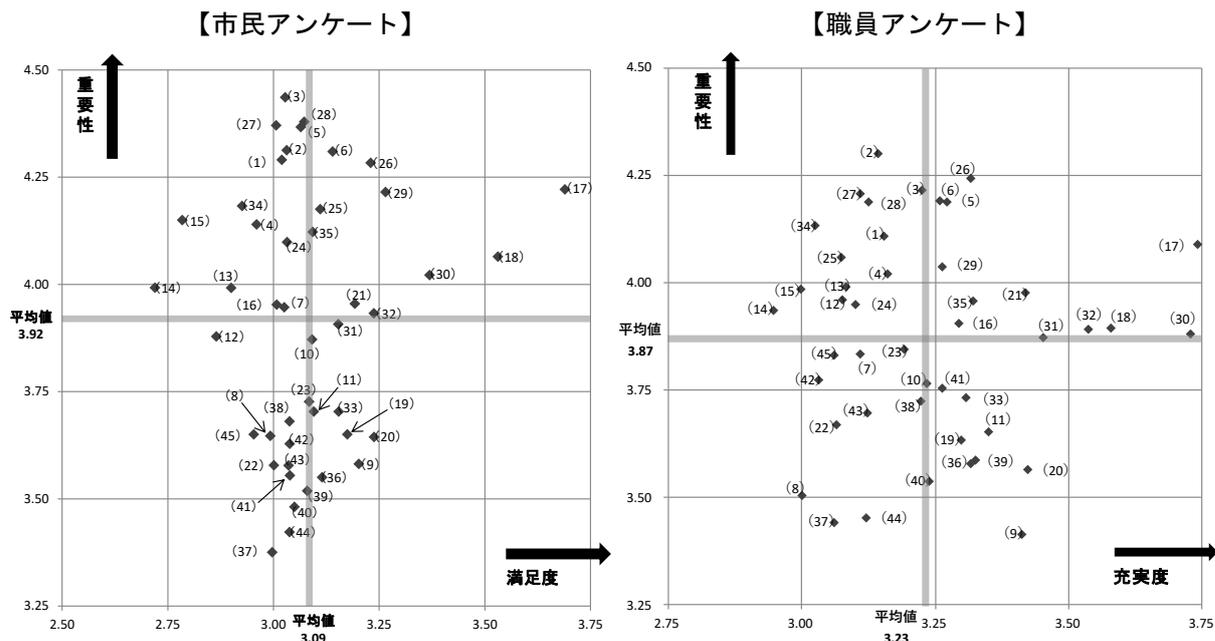
- ・「満足」の回答割合が、市民アンケートでは 12.4%、地域団体アンケートでは 30.3%と大きな差が見られる。また、「やや満足」を含めると、市民では 58.2%、地域団体アンケートでは 80.9%となっており、さらに大きな差が見られる。
- ・市民アンケートでは「どちらとも言えない」、「やや不満」の回答割合が 36.5%と高くなっている。



4. 市民アンケートと職員アンケートの比較

(1) 姫路市の施策に対する現状の満足度（充実度）と今後の重要性について

・ 姫路市の施策に対する現状の満足度（充実度）と今後の重要性について、市民アンケートと職員アンケートを比較した場合、「⑦小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実」、「⑩地産地消の推進など農林水産業の振興」、「②⑤ごみの減量化など循環型社会の形成」、「③⑨人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚」、「④①インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現」などについて、属する象限が異なっている。



【4象限マトリックス分析の結果一覧（市民アンケートと職員アンケートの比較）】

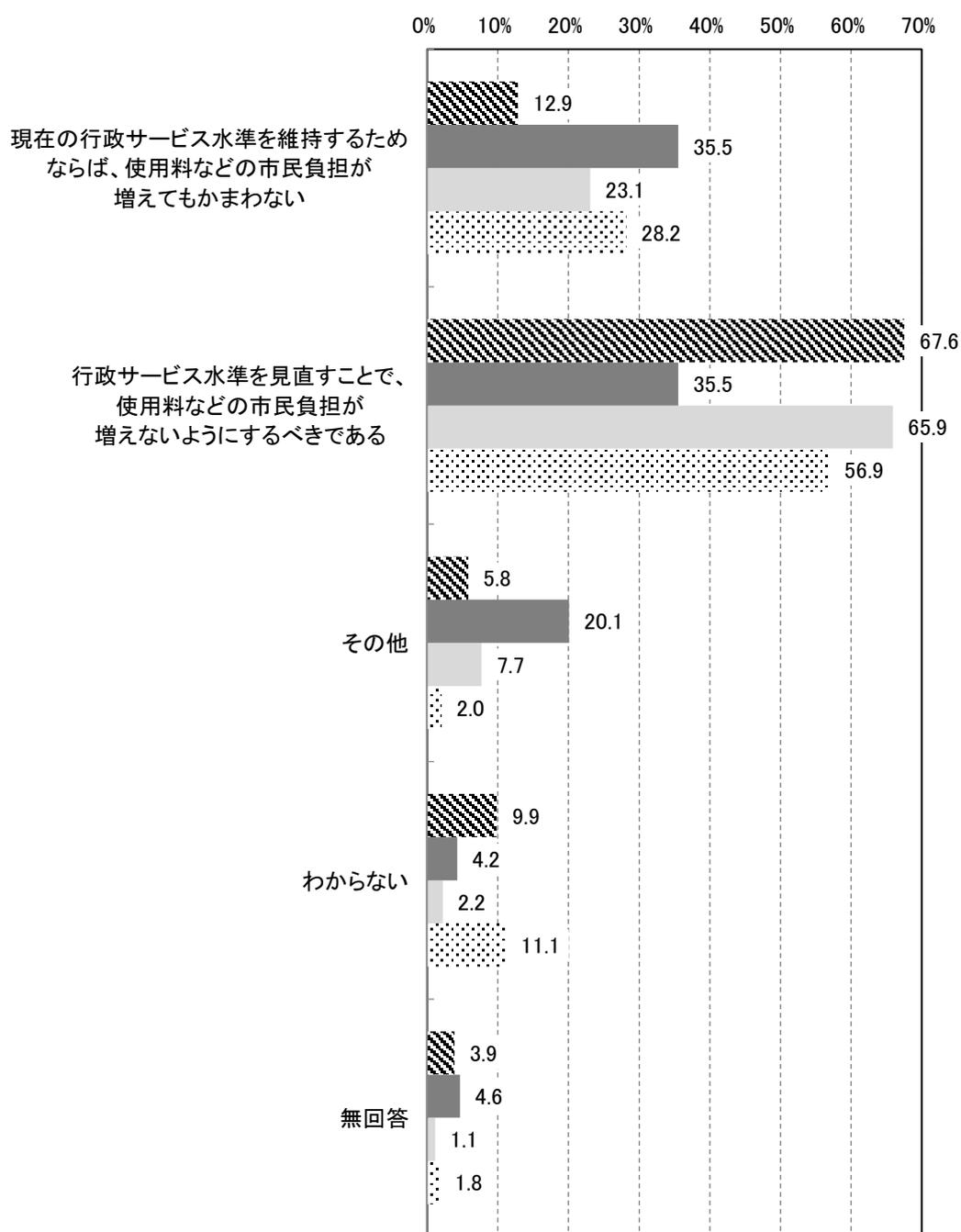
施策の主な内容	象限		施策の主な内容	象限	
	市民アンケート	職員アンケート		市民アンケート	職員アンケート
① 福祉人材の育成など互いに支え合う地域づくりの推進	A	A	②④ 環境を守る活動支援など環境の保全	A	A
② 保育サービスの充実など子育て支援の推進	A	A	②⑤ ごみの減量化など循環型社会の形成	B	A
③ 介護・福祉サービスの充実など高齢者福祉の充実	A	A	②⑥ 防災啓発や消防・救急体制の充実など消防・防災体制の充実	B	B
④ 障害者の日常生活・就労の支援など障害者福祉の充実	A	A	②⑦ 耐震対策の推進など災害に強い都市づくりの推進	A	A
⑤ 医療保険制度の運営など社会保障制度の適切な運営	A	B	②⑧ 防犯・交通安全意識の普及など安全な暮らしの確保	A	A
⑥ 保健対策・救急医療の充実など心と体の健康づくりの充実	B	B	②⑨ 食の安全性の確保など健康な生活の確保	B	B
⑦ 小中一貫教育や学校施設の充実など学校教育の充実	A	C	②⑩ 姫路駅周辺の施設整備など魅力ある都心部の形成	B	B
⑧ 大学研究活動・公開講座の支援など高等教育の振興	C	C	③① 中心市街地の活性化など都心部の賑わいづくり	D	B
⑨ 公民館活動の充実など生涯学習の振興	D	D	③② 姫路駅周辺の道路整備など南北市街地の一体化	B	B
⑩ 地域で見守る健全育成活動の推進など青少年の健全育成	D	C	③③ 都市景観の創出など都市空間の形成	D	D
⑪ スポーツ活動の支援や施設整備など生涯スポーツの充実	D	D	③④ 公共交通網の充実など交通網の構築	A	A
⑫ 積極的な企業誘致活動の展開など企業誘致の促進	C	A	③⑤ 河川・公園・上下水道の整備など都市基盤の整備	B	B
⑬ 中小企業の育成などものづくり力の強化	A	A	③⑥ 自治会の活動支援などコミュニティづくりの推進	D	D
⑭ 商店街の賑わいづくりの支援など商業の振興	A	A	③⑦ 審議会等への市民の参画など市民参画と協働の推進	C	C
⑮ 就職活動への支援など雇用・就業対策の充実	A	A	③⑧ 積極的な市政情報の提供など市政の信頼の確立	C	C
⑯ 地産地消の推進など農林水産業の振興	A	B	③⑨ 人権教育・啓発の推進など人権尊重意識の高揚	C	D
⑰ 姫路城の魅力発信など姫路城の保存・活用	B	B	④① インターネットを活用した市政情報の発信など情報社会の実現	C	D
⑱ 文化財の保存など歴史文化資源の保存・活用	B	B	④② 行政手続きの電子化など電子市役所の推進	C	C
⑲ 芸術文化活動の支援など市民文化の創造	D	D	④③ 近隣市町との連携など広域的な交流連携	C	C
⑳ 科学館等の充実など文化の交流・発信	D	D	④④ 海外都市との交流など国際化に対応した交流社会の構築	C	C
㉑ おもてなし・観光案内所の充実など観光客受入体制の充実	B	B	④⑤ 事務事業の見直し、公共施設マネジメントなど行財政改革の推進	C	C
㉒ ナイト観光の推進など多彩な観光の推進	C	C			
㉓ 外国人観光客の誘客など国際観光、大規模な会議・展示会などの促進	C	C			

5. 市民アンケートと有識者（学識者、地域団体）アンケート、職員アンケートの比較

(1)行政サービスの水準と市民負担について

- ・市民アンケートでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」（12.9%）の回答割合が低くなっている。
- ・学識者アンケートでは「現在の行政サービス水準を維持するためならば、使用料などの市民負担が増えてもかまわない」（35.5%）、「行政サービス水準を見直すことで、使用料などの市民負担が増えないようにする」（35.5%）の回答割合が同率になっている。

【行政サービス水準と市民負担】



▨ 市民 (n=4,980) ■ 学識者 (n=259) ▨ 地域団体 (n=91) ▨ 職員 (n=3,593)

6. その他

(1) 姫路市が今後、力を入れていくべき点について（有識者（学識者）アンケート）

- ・「観光の振興」が37.5%でもっとも多く、次いで「教育・文化の充実」が27.8%、「産業経済の活性化」が23.9%となっている。
- ・市内在住者では、全体より「子育て支援の充実」（32.4%）、「保健・医療の充実」（17.6%）、「農林水産業の振興」（14.9%）の回答割合が高く、「観光の振興」（25.7%）、「国際化への対応」（6.8%）などの回答割合は低くなっている。
- ・兵庫県内在住者では、全体より「観光の振興」（43.2%）、「高齢者福祉の充実」（20.5%）の回答割合が高く、「産業経済の活性化」（13.6%）などの回答割合が低くなっている。
- ・兵庫県外在住者では「国際化への対応」（19.3%）の回答割合が全体より高くなっている。

分野	具体的な内容（自由記述（抜粋））
保健・医療の充実	福祉（子育て、障害、介護）分野との連携・一本化
高齢者福祉の充実	自動車運転免許返納をしても通院・買い物等の足を確保して不自由のないシステム
環境問題への対応	自然エネルギー先進自治体の実現
産業経済の活性化	ものづくりを中心とした製造業に加え、デザイン、ITなどをうまく結びつけて新たな産業を創出していく
中心市街地の活性化	PFIを最大限に取り入れる
観光の振興	姫路の食をアピールしてはどうか
シティプロモーションの強化	播磨地区独特の秋祭りの魅力を広めていく
国際化への対応	外国企業の誘致

(2) 地域団体において、今後取り組んでいきたい活動について（有識者（地域団体）アンケート）

・自由記述（抜粋）

- ・地区のますますの一体化のため、総社の伝統的祭に、より多くの人の参加ができる工夫をしたい
- ・子供・学生（小学生）・高齢者の料理教室では食の大切さ等を一緒に学んでいますが、高校・大学生、若い世代の料理教室、社会人などの幅広い年齢の方にも一緒に出来る機会を持ちたい
- ・身体障害者や老人対策等、生活弱者が住みやすいコミュニティの充実した地域づくりを進めていきたい
- ・青少年の活動支援。青年団（18～25才）活動を支援。校区内の青少年が将来的に郷土を愛し活性化させる
- ・新たに入居された外国人のサポート

③人口減少や少子高齢化の進行など、地方が直面している課題等について（職員アンケート）

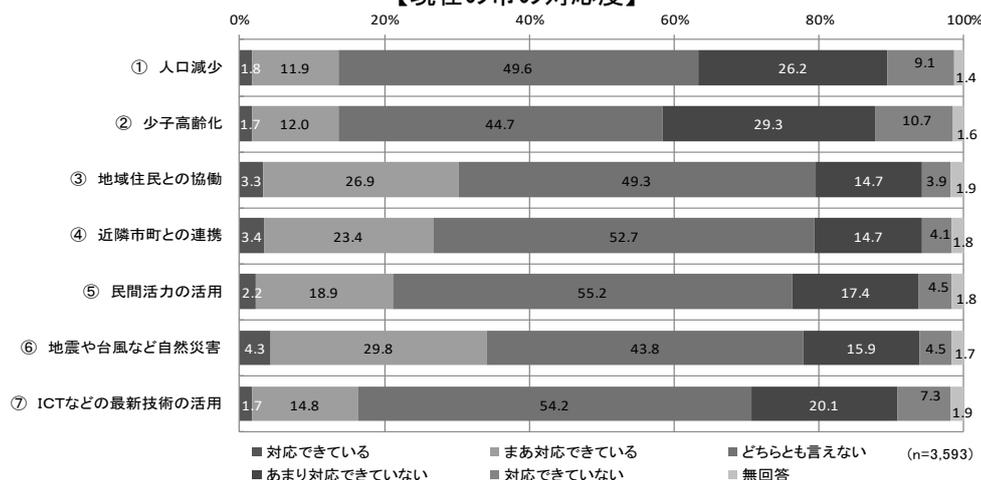
①現在の市の対応度について

- ・「対応できている」、「まあ対応できている」の回答割合が高い項目順に、「⑥地震や台風などの自然災害」(34.1%)、「③地域住民との協働」(30.2%)、「④近隣市町との連携」(26.8%)となっている。
- ・「対応できていない」、「あまり対応できていない」の回答割合が高い項目順に、「②少子高齢化」(40.0%)、「①人口減少」(35.3%)、「⑦ICTなどの最新技術の活用」(27.4%)となっている。

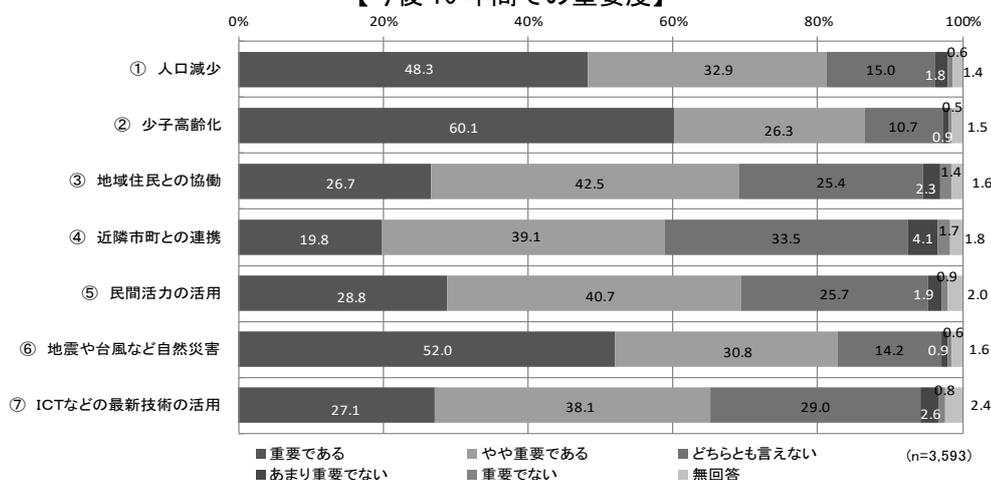
②今後10年間の重要度について

- ・「重要である」、「やや重要である」の回答割合が高い項目順に、「②少子高齢化」(86.4%)、「⑥地震や台風などの自然災害」(82.8%)、「①人口減少」(81.2%)となっている。
- ・「重要でない」、「あまり重要でない」の回答割合が高い項目順に、「④近隣市町との連携」(5.8%)、「③地域住民との協働」(3.7%)、「⑦ICTなどの最新技術の活用」(3.4%)となっている。

【現在の市の対応度】



【今後10年間の重要度】



姫路市まちづくりのためのアンケート報告書

【概要版】

平成31年（2019年）3月

発行 姫路市

編集 姫路市 市長公室 企画政策推進室

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

TEL 079-221-2594

FAX 079-221-2384

E-mail shinsoukei@city.himeji.lg.jp